DELCATEC

取扱説明書

遠隔操作アプリ
Guard Station
(Windows)

・ 複数台のカメラを登録し、カメラ映像（ライブビュー）の確認、または録画することができます。
このアプリは弊社製のCNEシリーズまたはCNW3SZ11（ワイヤレス対応ネットワークカメラ１台セット）、CNW3CBF1、CNW3CDF1 で使用できます。

重要 このアプリは、インターネットに接続してご使用ください。

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

本書に記載している画面および仕様は、予告なく変更されることがあります。

DXアンテナ株式会社

2025年 1月 Ver.3.0

もくじ

はじめに 3
インストールする 4
Guard Station を使用する 6
デバイスを追加・登録する 7
コントロールパネル 9
コントロールパネルの画面構成 9
コントロールパネルを編集する 10
メニュー一覧 11
ライブビュー 13
ライブビューの画面構成 13
カメラ映像表示の画面構成 14
カメラ映像を確認する 15
パソコンに録画する 16
ローカル録画を開始する 16
パソコンの録画データを再生する. 17
録画映像再生時の画面構成 17
ローカル録画を再生する 18
ローカル録画再生時の画面構成（コントロールパネル） 19
コントロールパネルからローカル録画を再生する 20
録画映像をダウンロードする 21
ビデオウォール 23
ビデオウォールの画面構成 23
ビデオウォールを設定する 24
音声 26
音声の画面構成 26
双方向音声を実行する 27
音声放送の画面構成 28
音声放送を実行する 29
E-MAP 31
E-MAP の画面構成 31
E-MAP を設定する 32
マップのホットスポットを監視する画面構成 36
アラーム記録 37
アラーム記録の画面構成 37
デバイス管理 40
デバイス管理の画面構成 40
ビュー 43
ビューの画面構成 43
ビューの追加 / 編集 / 削除 44
アラーム設定 45
アラームの画面構成 45
システム設定 46
システム設定の画面構成 46
シーケンシャルリソース 49
シーケンシャルリソースの画面構成 49
シーケンシャルリソースの追加 / 編集 / 削除 50
ユーザー管理 51
ユーザー管理の画面構成 51
ユーザー管理の追加 / 編集 / 削除 .. 52
録画スケジュール 53
録画スケジュールの画面構成 53
動作履歴 54
動作履歴の画面構成 54
アクセスコントロール 55
顔認証 56
遠隔監視設定 57
Guard Viewer を使ってカメラを登録する 57
Guard Station の設定 58

はじめに

Guard Station 対応の製品をインターネットに接続し、Guard Station をインストールしたパソコンからデバイス（カメラ）の映像を見ることができます。

重要 **Guard Station 対応の製品を使用するときは、インターネット環境が必要です。**
通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。
ご利用の際はご契約の通信事業者へ確認してください。

この製品は犯罪防止システム品ではありません。空き巣、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

● 注意・免責事項

- デフォルトのパスワードは、最初のログイン用です。
- セキュリティのため、［強いパスワード］を設定してください。
- ［強いパスワード］には 8 文字以上で、次の要素［数字］［大文字］［小文字］［特殊文字］を 3 つ含む構成で作成してください。
- パスワードを安全に保つためには、定期的な変更を推奨します。

● システム要求事項

- このソフトウェアを安定動作させるには以下の性能が必要です。複数の高解像度ライブビューを表示する場合、より高いシステムパフォーマンスが必要となります。

ソフトウェアバージョン　システム要求

Windows 64bit	**OS**	Microsoft Windows 10/11（64bit）
	CPU	Intel Core i5 3.1GHz 以上
	メモリー	4GB 以上

インストールする

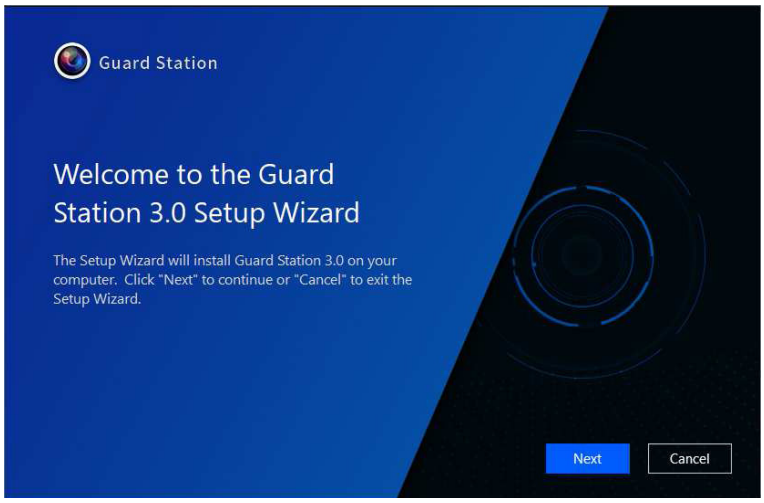
このアプリは、ご使用になるパソコンにインストールすることで使用できます。
※ Guard Station をインストールできるパソコンは、次のとおりです。
・Windows 10/11（64bit）

1 ダウンロードする

Guard Station を下記の URL よりダウンロードしてください。
https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?category=&page=1&id=2690

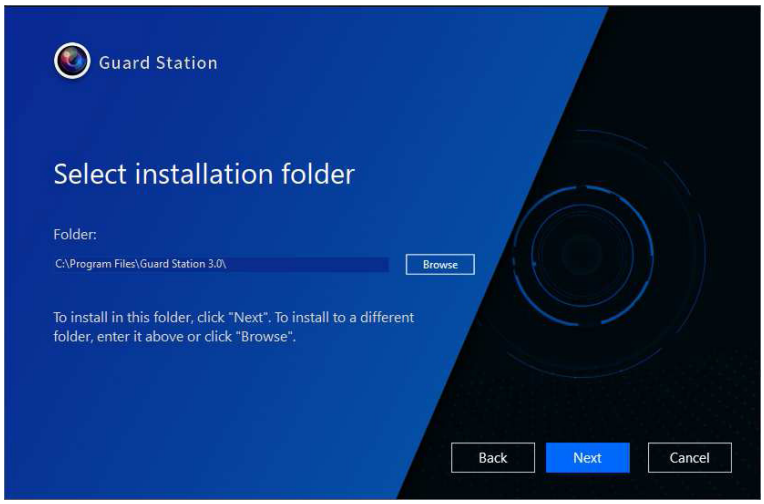
※確認画面が表示されたら、[許可] または [はい] を選択してください。

2 [NEXT] をクリックする



3 保存先を選択する

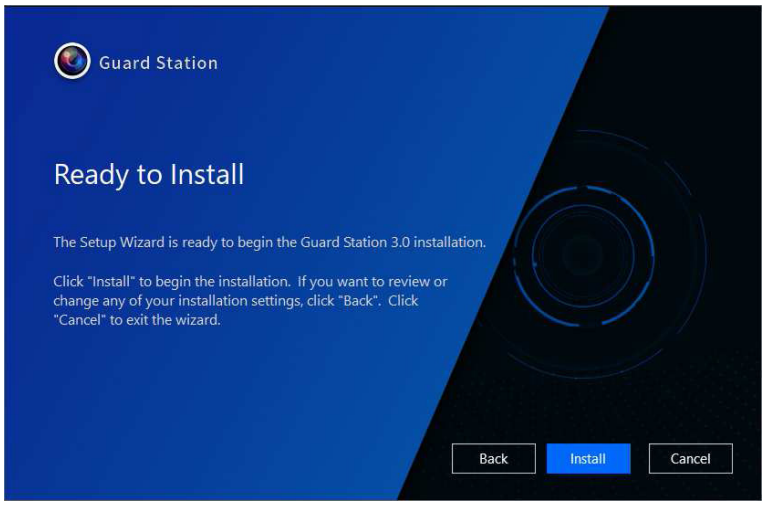
インストール先を変更するときは、[Browse] をクリックします。
保存先を選択して、[Next] をクリックします。



4 [Install] をクリックする

インストールが始まります。

※インストールが完了するまで、そのままお待ちください。



5 [Finish] をクリックする

画面が終了します。



Guard Station を使用する

インストールした Guard Station を起動してください。

1 アイコンをダブルクリックする

インストールが完了すると、デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。
スタートメニューまたはショートカットアイコンから起動します。



スタートメニュー

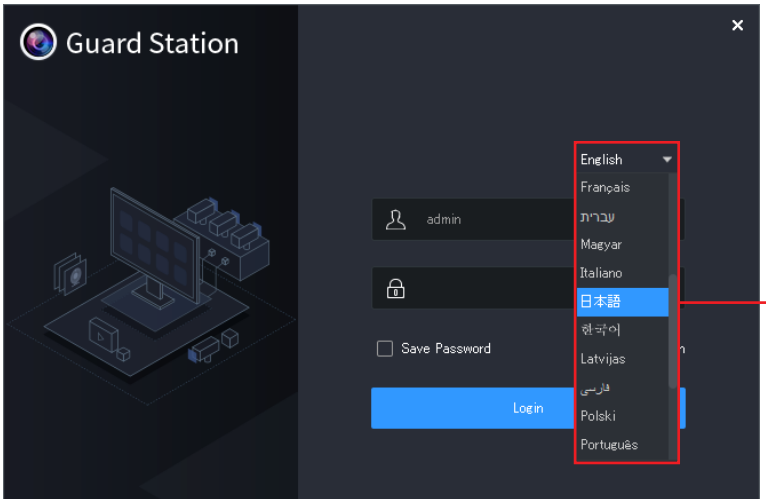


ダブルクリックする

ショートカット
アイコン

2 ログインする

①表示言語を設定します。



①言語を設定する

② [ログイン] をクリックする。

初めてログインするときは、以下の ID とパスワードを入力します。
ID：admin
パスワード：123456

［自動ログイン］ログイン画面を省略する事ができます。
［パスワードを保存します。］パスワード入力を省略する事ができます。



ID を入力します

パスワードを入力します

②ログインをクリックする

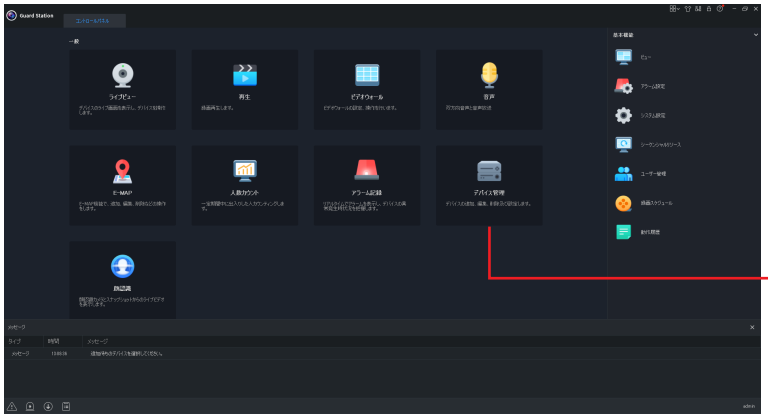
重要 **セキュリティ保護のためパスワードの変更を推奨します。**
パスワードの変更は［ユーザー管理］で編集することができます。

デバイスを追加・登録する

デバイス（カメラやレコーダー）の登録・削除をします。
遠隔からデバイス登録するときは、遠隔監視設定（➡ 58 ページ）を確認してください。

1 ［デバイス管理］を選択する

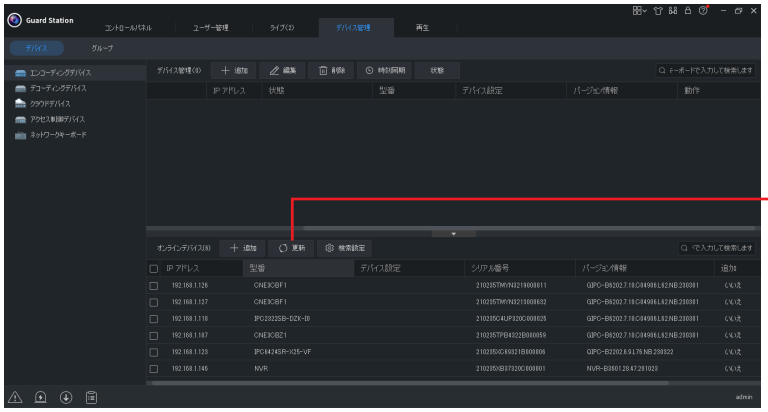
［デバイス管理］画面が表示されていないときは、［コントロールパネル］から選択することができます。



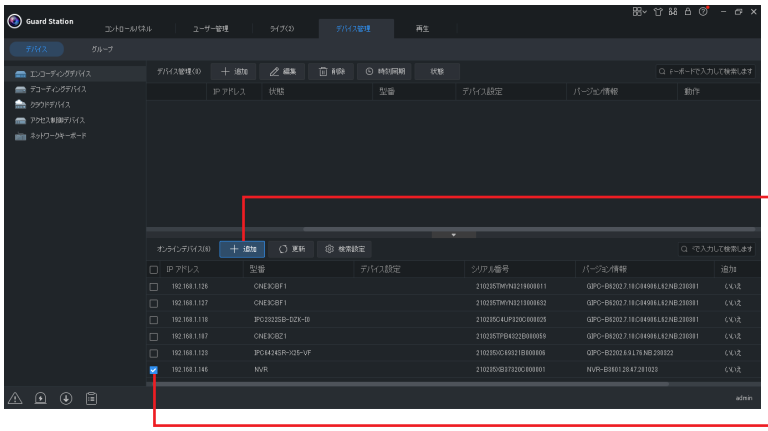
2 カメラを登録する

管理用 PC と登録するデバイス（カメラ・レコーダー）は、無線 LAN で接続するときは、同一ネットワーク内にあることを確認してください。

①追加するデバイスが表示されないときは、［更新］をクリックします。



②追加するデバイスにチェックを入れて、［+ 追加］をクリックし、プルダウンメニューより［追加］を選択します。



3 接続状態を確認する

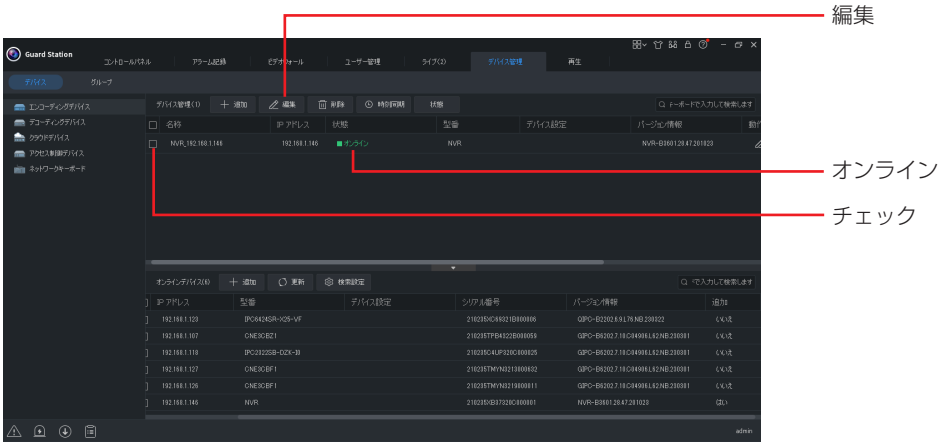
①デバイス管理にデバイスが追加されます。

②デバイスを選択して、チェックを入れます。

③ [編集] をクリックして、デバイス側で設定したユーザー名とパスワードを入力します。

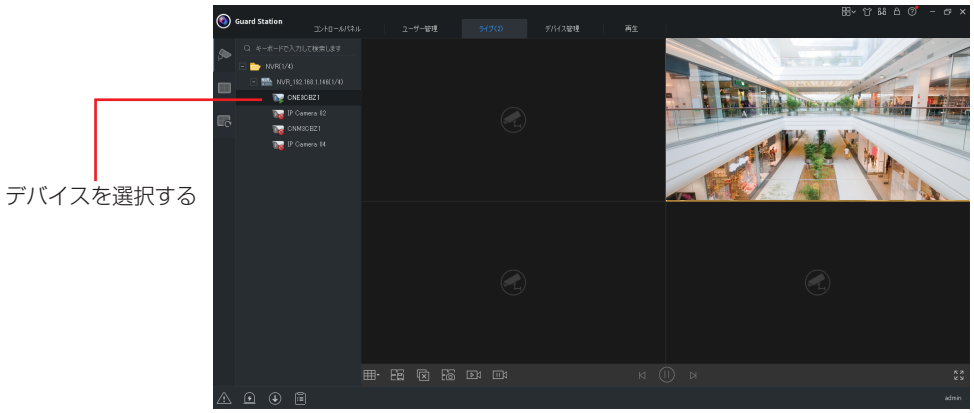
④［デバイス管理］の状態が［オンライン］になっていることを確認してください。

重要 **同一ネットワーク上にデバイスが接続されていない場合は、デバイス管理の［状態］に［オンライン］が表示されません。**



4 ライブビューを表示する

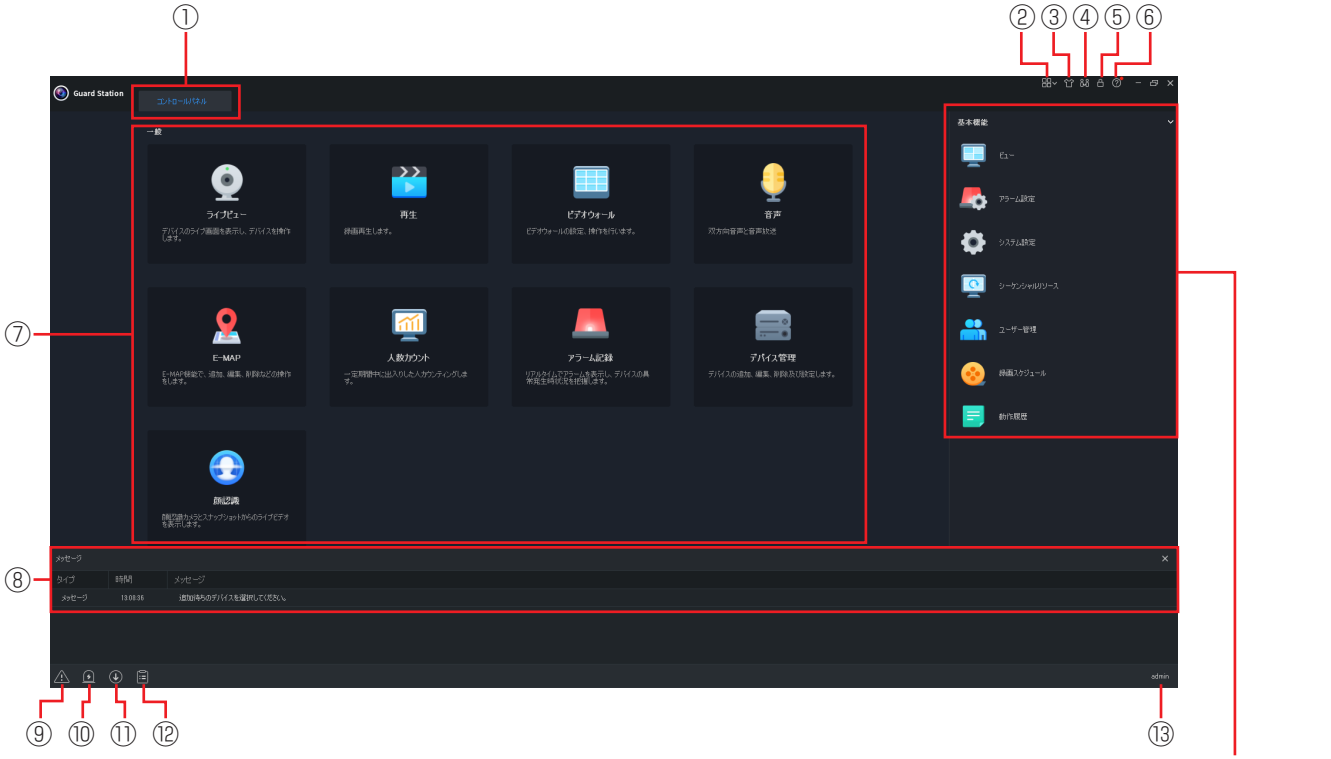
コントロールパネルから［ライブビュー］を選択し、デバイスを選択します。



コントロールパネル

すべての機能は、コントロールパネルから操作することができます。
コントロールパネルの画面構成は、次のとおりです。

コントロールパネルの画面構成



基本機能 / スマート機能パネル
∨をクリックすると、スマート機能に切り替えることができます。

①タブ
起動中の機能がタブで表示されます。

②メニュー
すべての機能を表示します。

③背景色の変更
背景の色をライトモードとダークモードに変更することができます。

④ユーザー切換
ログインするユーザーを切り換えます。

⑤ロック
ログイン中のユーザーのみ操作ができます。

⑥ヘルプ
設定ウィザード：
デバイスの追加画面が表示されます。
(➡ 41 ページ)

⑦一般パネル
よく使う機能を右側の基本機能またはスマート機能パネルより登録しておくことができます。

⑧通知パネル
通知内容が表示されます。

⑨最新のアラーム
最新のアラーム一覧が表示されます。

⑩アラーム連動ライブビュー
アラーム連動ライブビューが表示されます。
アラームが発生しているデバイスのライブビューを確認できます。

⑪録画ダウンロード
録画ダウンロードが表示されます。
デバイスに挿入されている microSD カードから録画データをダウンロードできます。

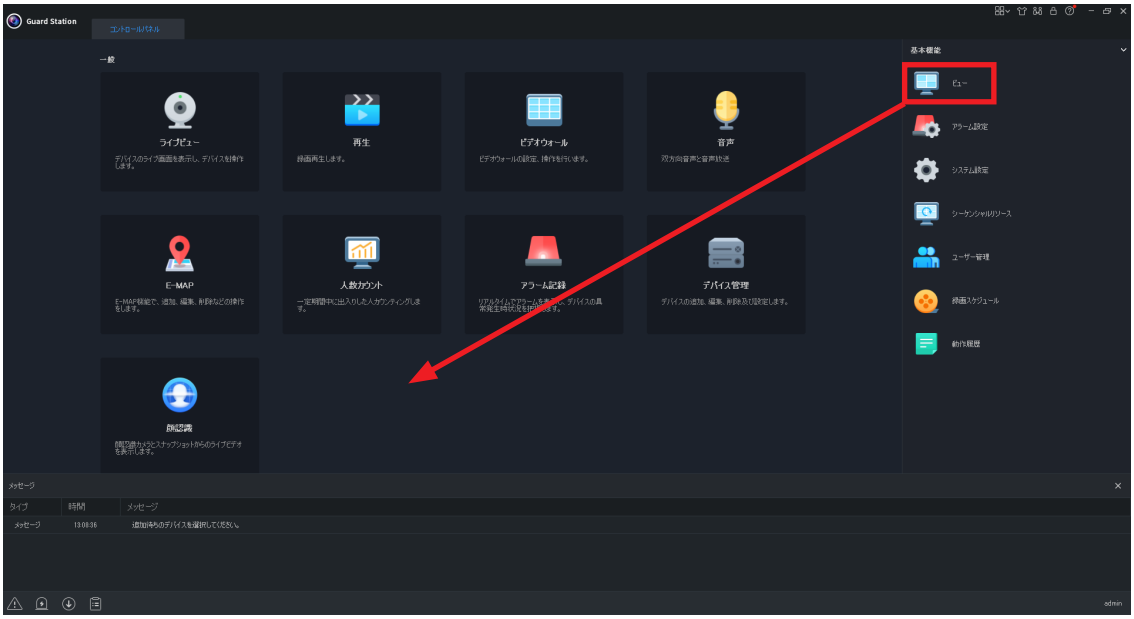
⑫操作管理
操作管理が表示されます。
ダウンロード中の録画データを管理できます。

⑬ユーザー名
ログイン中のユーザー名が表示されます。

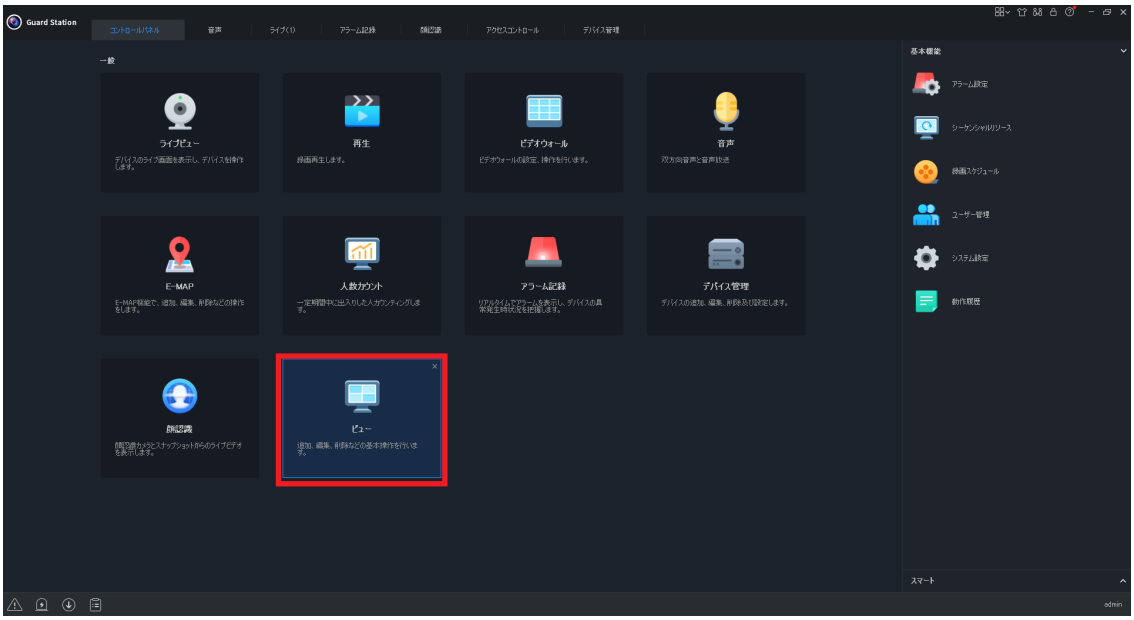
コントロールパネルを編集する

コントロールパネルの一般画面によく使う機能を、基本機能 / スマート機能パネルからドラッグすることで登録することができます。

1 一般画面に追加したい機能をドラッグする



2 機能が追加される



メニュー一覧

Guard Station で使用する基本的なメニューは以下の通りです。

■下記のメニューは、コントロールパネルまたはメニュー画面から操作することができます。

	メニュー項目	機能説明	参照ページ
基本機能	ビュー	追加、編集、削除など基本操作を行います。	44 ページ
	アラーム設定	連動スケジュールとアクションを設定します。	46 ページ
	シーケンシャルリソース	シーケンシャルリソースの追加、編集、基本操作を行います。	50 ページ
	録画スケジュール	録画スケジュールを設定します。	54 ページ
	ユーザー管理	PC クライアントのユーザー権限を追加、編集、削除および設定をします。	52 ページ
	アラーム記録	リアルタイムでアラームを表示し、デバイスの異常発生時状況を把握します。	38 ページ
	デバイス管理	デバイスの追加、編集、削除および設定をします。	41 ページ
	システム設定	クライアントシステムのパラメータを設定します。	47 ページ
	E-MAP	E-MAP 機能で、追加、編集、削除などの操作をします。	32 ページ
	動作履歴	ユーザー操作履歴を確認及びエクスポートをします。	55 ページ
	ビデオウォール	ビデオウォールの設定、操作を行います。	25 ページ
	音声	双方向音声と音声通話などを行います。	27 ページ
	ライブビュー	デバイスのライブ画面を表示し、デバイスを操作します。	44 ページ
	再生	録画を再生します。	17 ページ
スマート（※）	アクセスコントロール（この機能は動作しません）	リアルタイム監視をしたり侵入 / 退出の記録をしたりできます。	56 ページ
	Perimeter Protection（この機能は動作しません）	リアルタイム監視をすることができます。	57 ページ
	人数カウント（この機能は動作しません）	一定期間中に出入りした人のカウンティングをします。	56 ページ
	顔認識（この機能は動作しません）	顔認証カメラとスナップショットからのライブビデオを表示します。	57 ページ

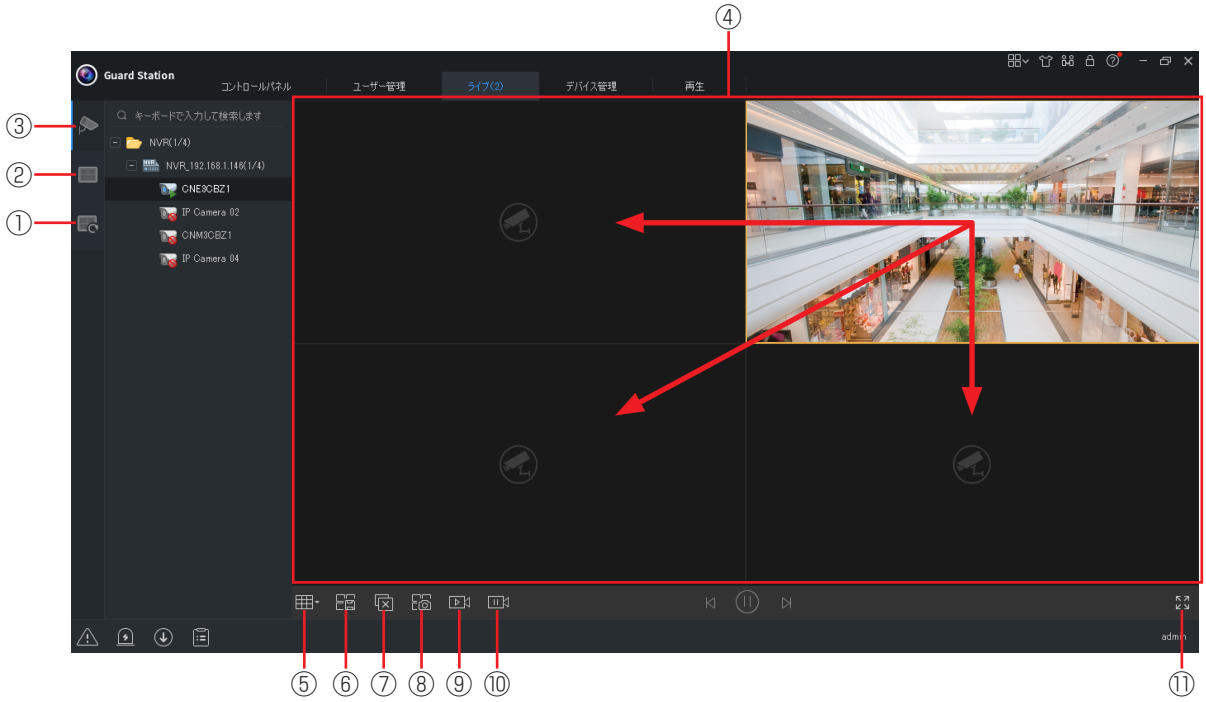
■下記の画面は、マウスの右クリックで操作することができます。

メニュー項目	機能説明	参照ページ
閉じる	選択しているライブビューを閉じます。	–
すべてを閉じる	すべてのライブビューを閉じます。	–
表示比	画面の表示比率を変更できます。	–
最大化	画面を最大表示します。	–
全画面	画面を全画面表示します。	–
デジタルズームを有効にする	画面をドラッグで選択した範囲が拡大されます。	17 ページ
即時再生	リアルタイムの出来事を遡って再生することができます。	14 ページ
双方向音声開始	デバイスの音声を聞く、およびデバイスに音声を送話することができます。	14 ページ
VCA ルールを無効にする	この機能は動作しません。	–
ストリームタイプ	メイン、サブ、サードに切り換えることができます。	–
Display POS OSD	POS 情報（型番）を表示します。	14 ページ
スナップショット	スナップショットを撮影します。	14 ページ
連続スナップショット	連続でスナップショットを撮影します。	–
すべてのスナップショット	各ライブ画面のカメラ映像の静止画をキャプチャーし、保存します。	–
ローカル録画開始	ライブビューのカメラ映像の録画を開始し、ご使用のパソコンに保存します。	16 ページ
手動アラーム	アラームを手動で作動させます。	–
カメラ情報	カメラ情報を表示します。	–
システム設定	クライアントシステムのパラメータを設定します。	47 ページ
ローカル録画再生	ご使用のパソコンに保存した録画映像を再生します。	18 ページ

ライブビュー

コントロールパネルで［ライブビュー］をクリックします。デバイスのカメラ映像を表示し、デバイスを操作します。映像はドラッグすることでレイアウトを変更することができます。

ライブビューの画面構成



①シーケンシャルリソース（➡ 50 ページ）
カメラからのライブビデオを 1 つずつ再生します。

②ビュー（➡ 44 ページ）
カメラリストのカメラからライブビューを順番に再生します。

③ビデオチャンネル
登録しているデバイス（ビデオチャンネル）を表示します。

④ライブビュー
デバイスのカメラ映像（ライブビュー）を表示する画面です。

⑤分割画面
ライブビュー画面の分割数を 1 ～ 64 画面に設定できます。（編集）をクリックするとカスタムレイアウト画面が表示されます。ライブビュー画面の分割数や配置を設定し、新しいカスタムビューとして追加できます。

⑥保存
ライブビュー画面にデバイスを割り当てた状態で、カスタムビューに保存できます。

⑦すべての画面を閉じる
すべてのライブビュー画面を閉じます。

⑧すべてのスナップショット
各ライブ画面のカメラ映像の静止画をキャプチャーし、保存します。

⑨録画をすべて開始
各ライブビュー画面のカメラ映像のローカル録画を開始します。

⑩録画をすべて停止
各ライブビュー画面のカメラ映像のローカル録画を停止します。

⑪全画面 / 全画面解除

（全画面）：
[④ライブビュー画面] が全画面表示になります。

（全画面解除）：
全画面表示が解除されます。

全画面表示のときは、マウスを画面一番下に合わせると操作パネルが表示されます。

カメラ映像表示の画面構成

ライブビュー画面でカメラ映像を確認します。



①現在日時
現在の日付と時刻を表示します。

②ライブビュー
現在のカメラ映像が表示されます。

③スナップショット
カメラ映像の静止画像をキャプチャーし、保存します。

④ローカル録画開始 / ローカル録画停止
(➡ 16 ページ)
クリックすると、に切り替わり、ライブビューのカメラ映像の録画を開始し、PC に保存します。ライブビュー画面右上に [⑪録画マーク] が点滅し、[⑫総録画時間] が表示されます。
再度クリックすると、録画を停止します。

⑤PTZ コントロール（PTZ カメラのみ）
PTZ カメラのコントローラーが表示されます。PTZ カメラを遠隔操作できます。

⑥デジタルズーム有効 / デジタルズーム解除
クリックすると、に切り替わり、デジタルズームが有効になります。画面をドラッグで選択した範囲が拡大されます（マウスのホイール機能を使っても拡大縮小は可能です）。
再度クリックすると、デジタルズームが解除されます。

⑦ミュート解除 / ミュート
クリックすると、に切り替わり、ミュートが解除されます。デバイスの音声を聞くことができます。音量も調節できます。
再度クリックすると、ミュートになります。

⑧双方向通話
クリックすると、に切り替わり、デバイスの音声を聞く、およびデバイスに音声を送話することができます。ライブビュー画面右上に双方向音声マーク ( ) が点滅表示されます。各音量も調節できます。
再度クリックすると、双方向音声を停止します。

⑨即時再生
リアルタイムの出来事を遡って再生することができます。

⑩POS 情報
POS 情報（型番）を表示します。

⑪ビットレート / 解像度
カメラ映像のビットレートと解像度が表示されます。

⑫録画マーク / 総録画時間
ローカル録画中に点滅します。/ ローカル録画の総録画時間を表示します。

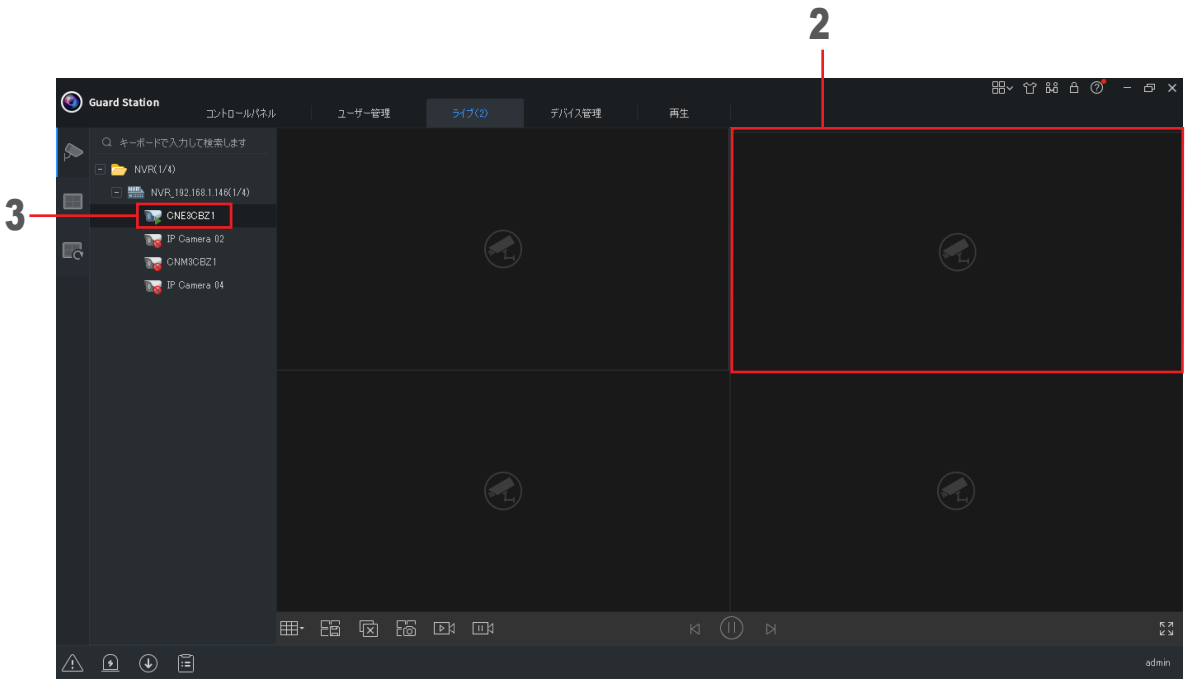
カメラ映像を確認する

1 ライブビューをクリックする

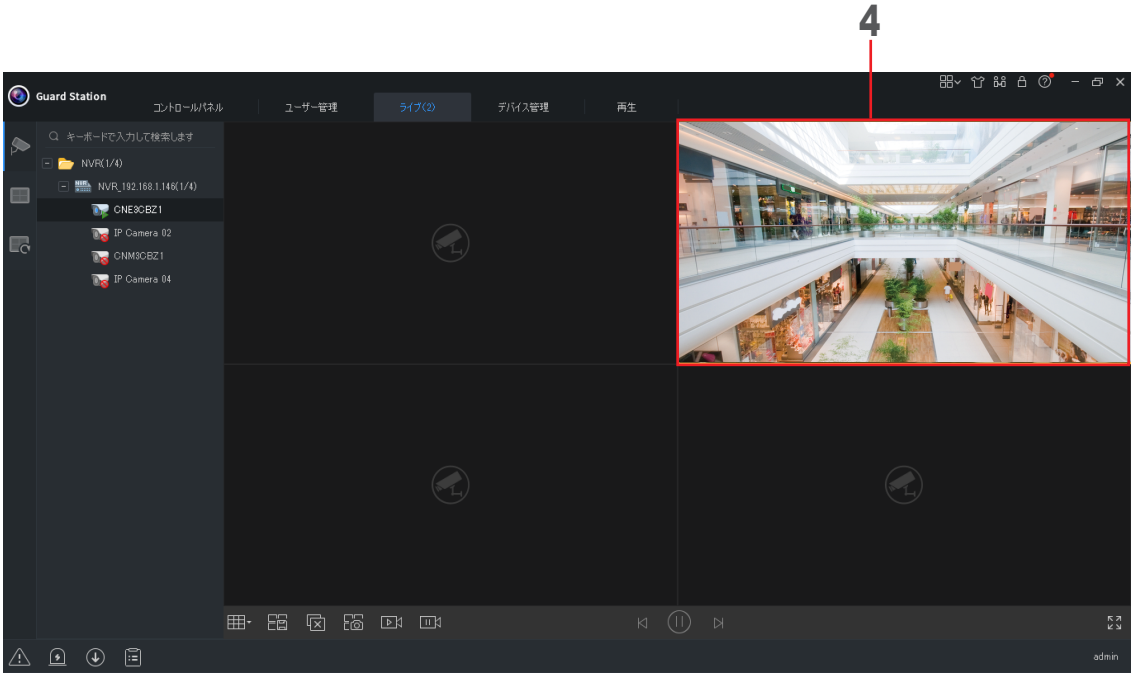
コントロールパネルから［ライブビュー］を選択します。

2 表示するライブビュー画面をクリックする

3 デバイスをダブルクリックする



4 カメラ映像が表示される



パソコンに録画する

カメラ映像をご使用のパソコンに録画します。

ローカル録画を開始する

1 ローカル録画開始をクリックする

カメラ映像の下部に表示される をクリックします。



2 ローカル録画開始を開始する

から に切り換わり、ローカル録画を開始します。再度クリックすると録画を停止します。
(録画マーク / 総録画時間がライブビューに表示されます)。

保存先を変更するときは、[システム設定] を選択してください (➡ 47 ページ)。

パソコンの録画データを再生する

ご使用のパソコンに保存した録画映像を再生します。

録画映像再生時の画面構成



①録画日時
ローカル録画時の日付と時刻を示します。

②カメラ映像
ローカル録画したカメラ映像が再生されます。

③スナップショット
カメラ映像の静止画像をキャプチャーし、保存します。

④デジタルズーム有効 / デジタルズーム解除
クリックすると、に切り替わり、デジタルズームが有効になります。画面をドラッグで選択した範囲が拡大されます。(マウスのホイール機能を使っても拡大縮小は可能です)
再度クリックすると、デジタルズームが解除されます。

⑤クリッピング開始
ビデオの一部を切り取ることができます。

⑥ミュート解除 / ミュート
クリックすると、に切り替わり、ミュートが解除されます。デバイスの音声を聞くことができます。音量も調節できます。
再度クリックすると、ミュートになります。

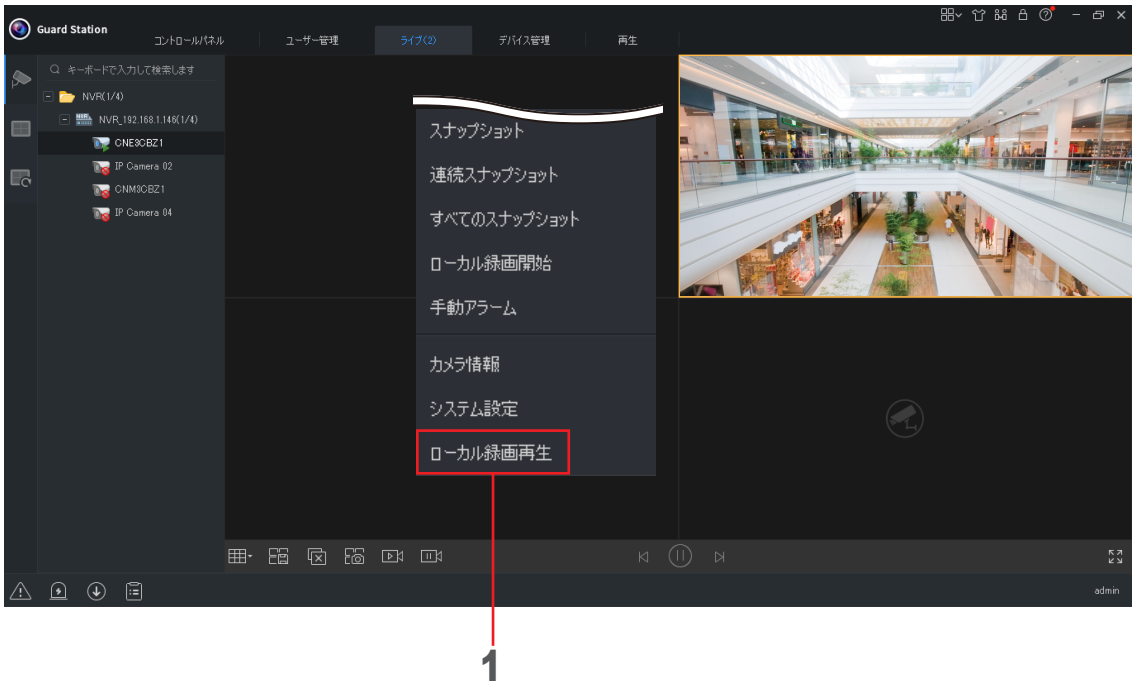
⑦カメラ名表示
あらかじめカメラ名を入力した場合、映像選択時に表示されます。

⑧ビットレート / 解像度
カメラ映像のビットレートと解像度が表示されます。

ローカル録画を再生する

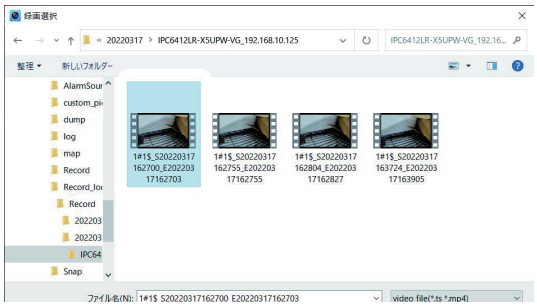
1 ローカル録画再生を選択する

ローカル録画したカメラ映像を再生するライブビュー画面で右クリックして、[ローカル録画再生] をクリックします。



2 再生するファイルを選択する

再生するファイルを選択して、[開く] をクリックします。

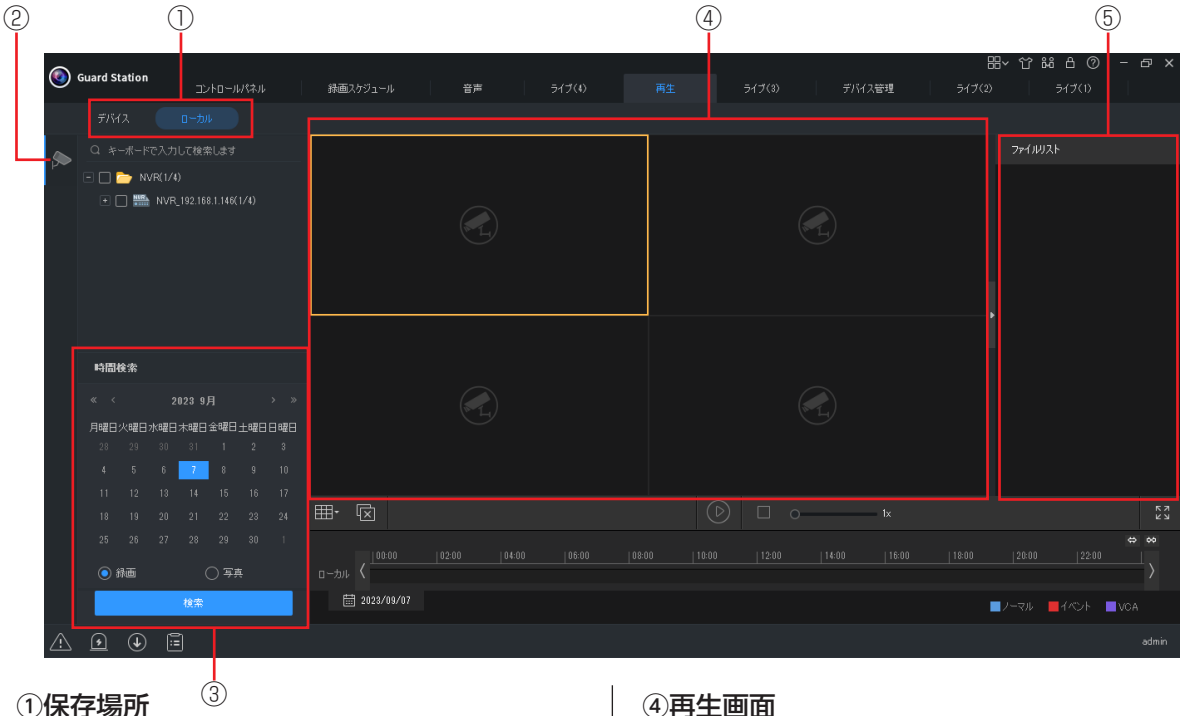


コントロールパネルから、ローカル録画を再生することもできます (➡ 20 ページ)。

3 録画映像が再生される

ローカル録画再生時の画面構成（コントロールパネル）

コントロールパネルで［再生］をクリックし、ご使用のパソコンに保存した録画映像を再生します。
デバイスで録画したデータを再生するときは、保存場所の［デバイス］を選択してください。



①保存場所

・パソコンに保存した録画データを再生するときは、［ローカル］を選択してください。
・デバイスに保存した録画データを再生するときは、［デバイス］を選択してください。

②ビデオチャンネル

録画しているデバイスを表示します。

③時間検索

録画日または撮影日時の範囲を設定します。
[①保存場所] で [ローカル] を選択した場合は、対象ファイルの種類を [録画] または [写真] から選択します。

④再生画面

録画したカメラ映像が再生されます。

再生画面の操作ボタンやタイムラインは、録画したカメラ映像の保存場所や再生方法、対象ファイルによって異なります。

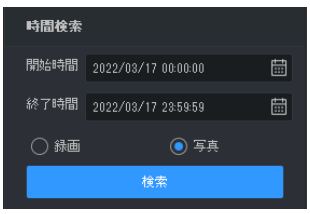
⑤ファイルリスト

再生対象のファイルが一覧表示されます。
再生するファイルをダブルクリックすると、再生を開始します。

録画日の範囲設定



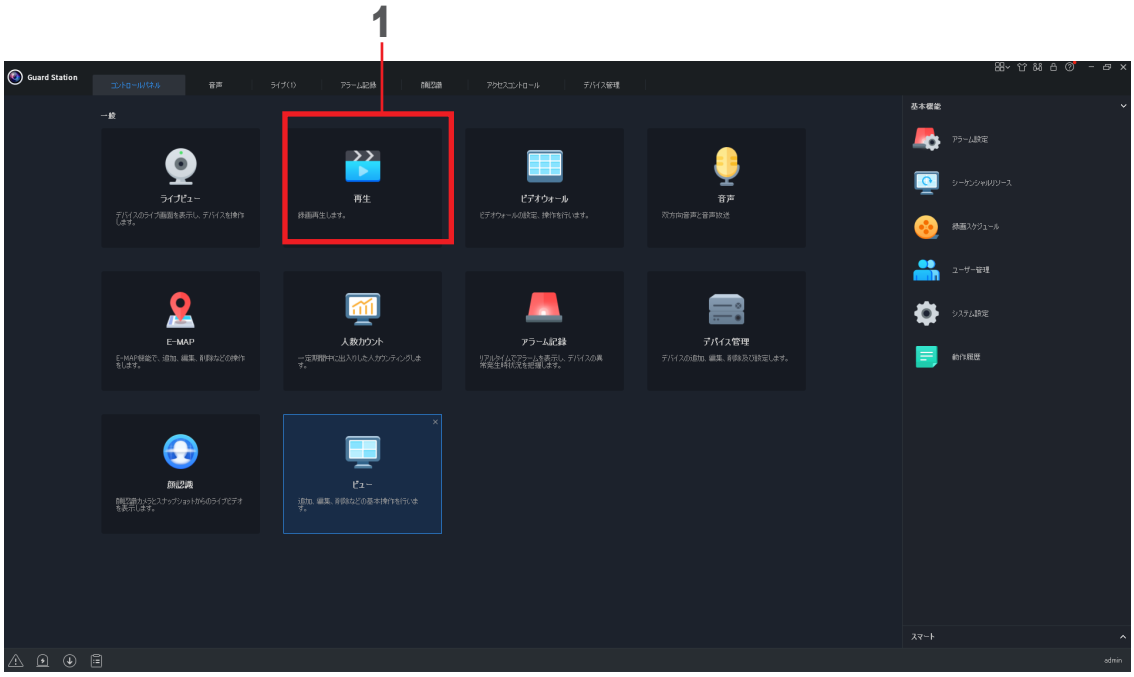
撮影日時の範囲設定



コントロールパネルからローカル録画を再生する

1 再生をクリックする

コントロールパネルから［再生］を選択します。



2 表示するライブビュー画面をクリックする

3 ［ローカル］をクリックする

4 録画したカメラ映像を選択する

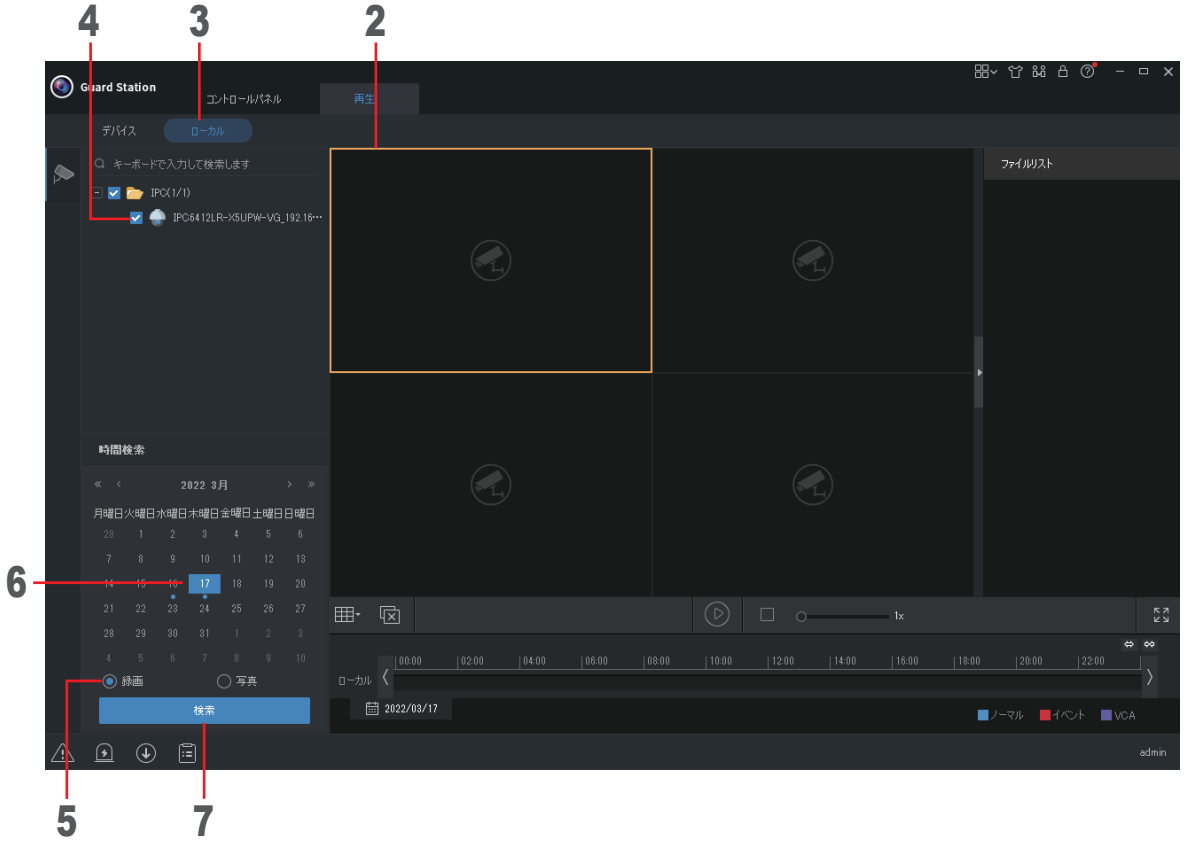
デバイスを選択して、チェックを入れます。

5 ［録画］を選択する

6 日付を選択する

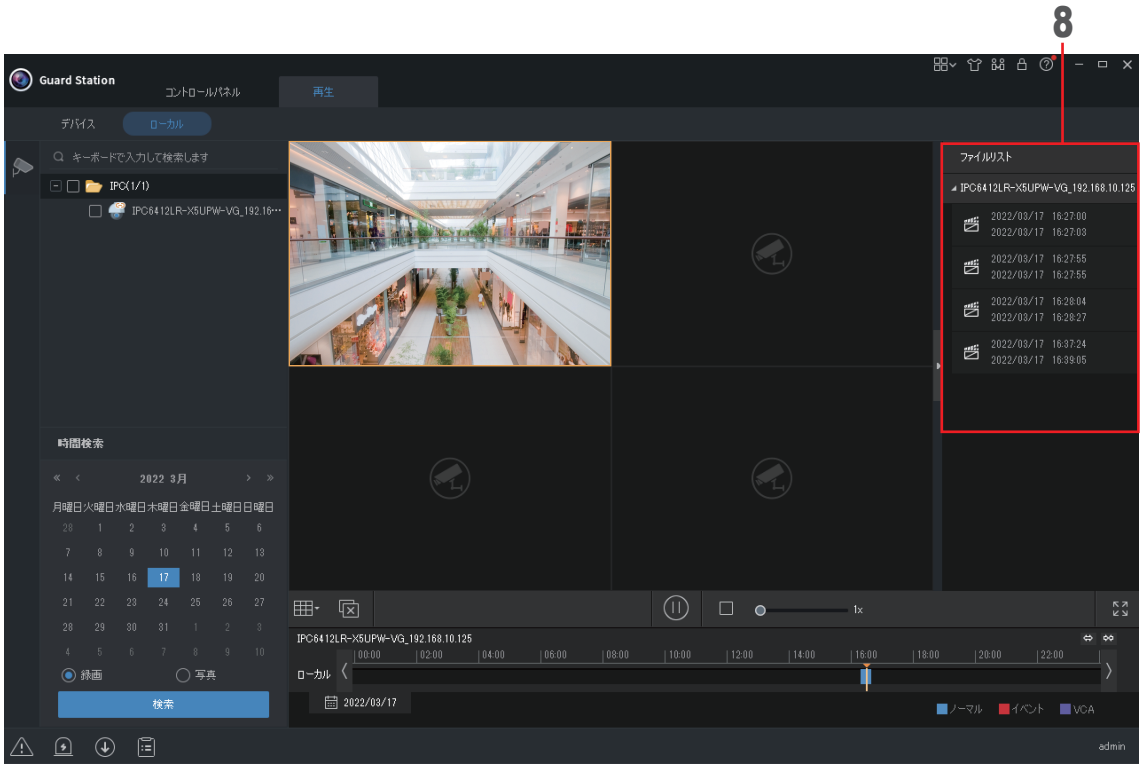
カレンダーから日付をクリックします。

7 ［検索］をクリックする



8 ファイルをダブルクリックする

ファイルリストに一覧表示されているので、再生対象のファイルを選択します。



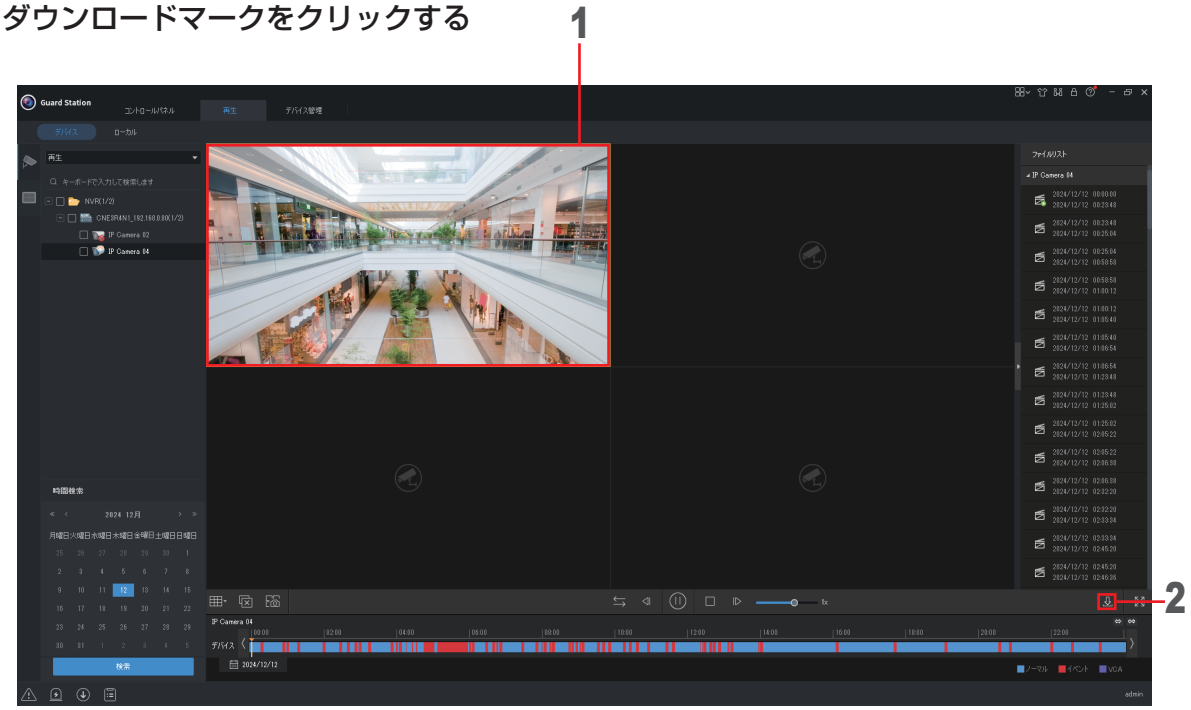
9 録画映像が再生される

録画映像をダウンロードする

1 ダウンロードしたいカメラを選択する

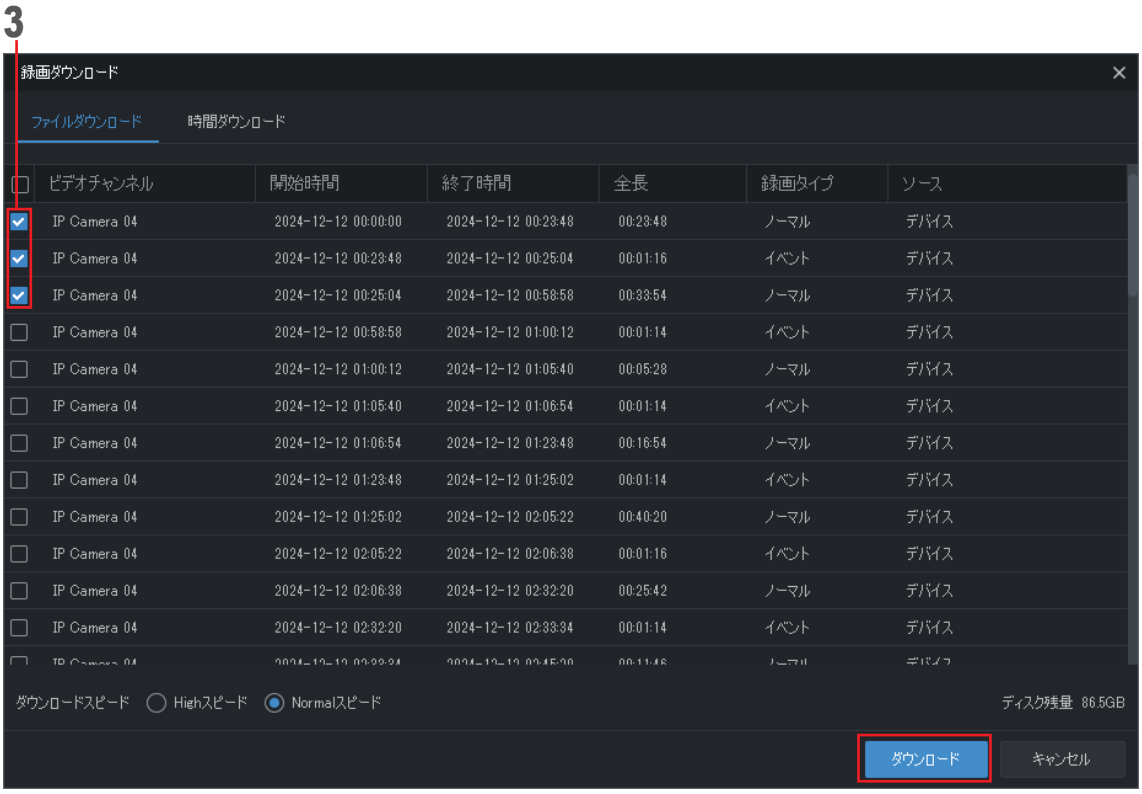
ダウンロードする画面をクリックします。

2 ダウンロードマークをクリックする



3 ファイル毎にダウンロードする

リストアップされているファイルから選択し、ダウンロードをクリックします。

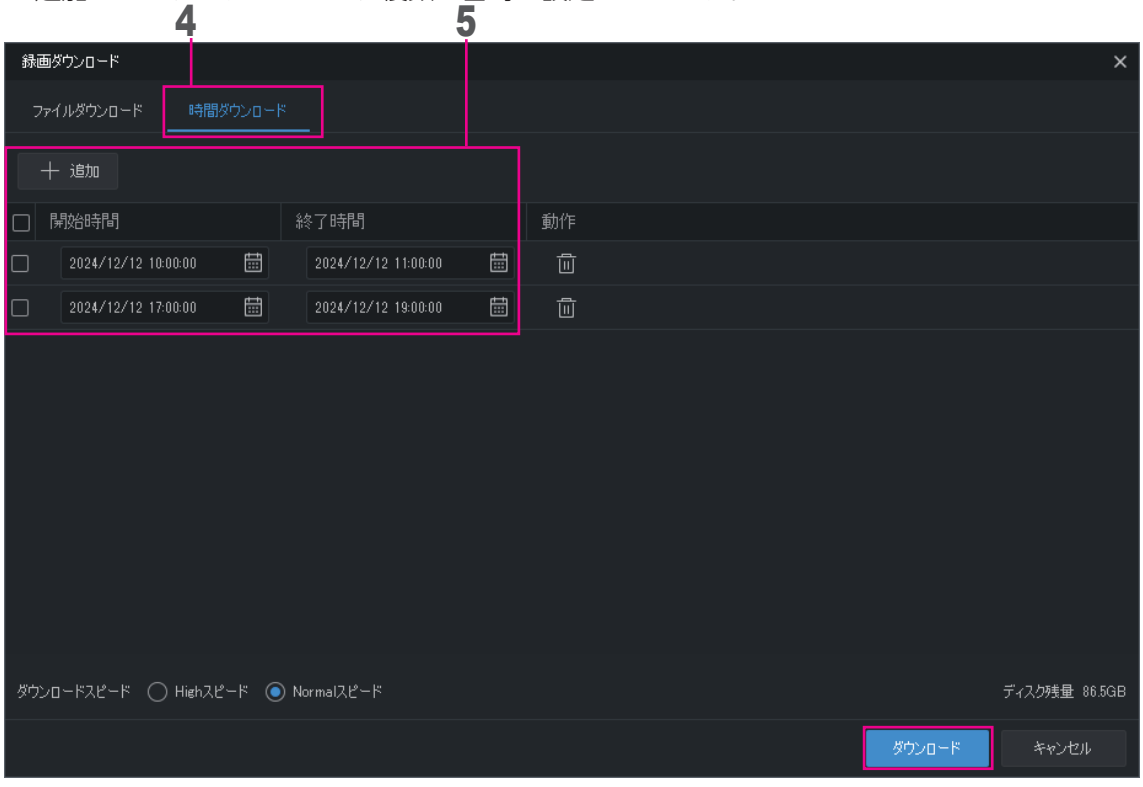


4 指定時間帯の録画をダウンロードする

時間ダウンロードをクリックします。

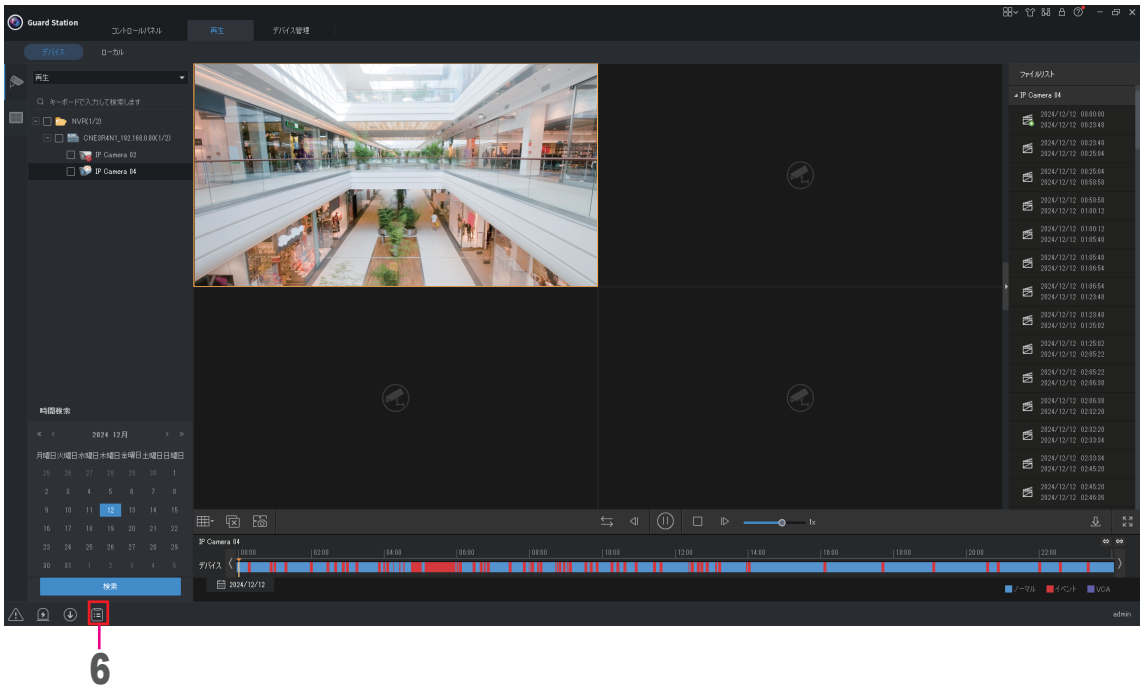
5 開始時間と終了時間を指定する

追加をクリックすることで、複数の日時の設定ができます。



6 ダウンロードファイルを確認する

をクリックするとダウンロード一覧ウィンドウが開きます。

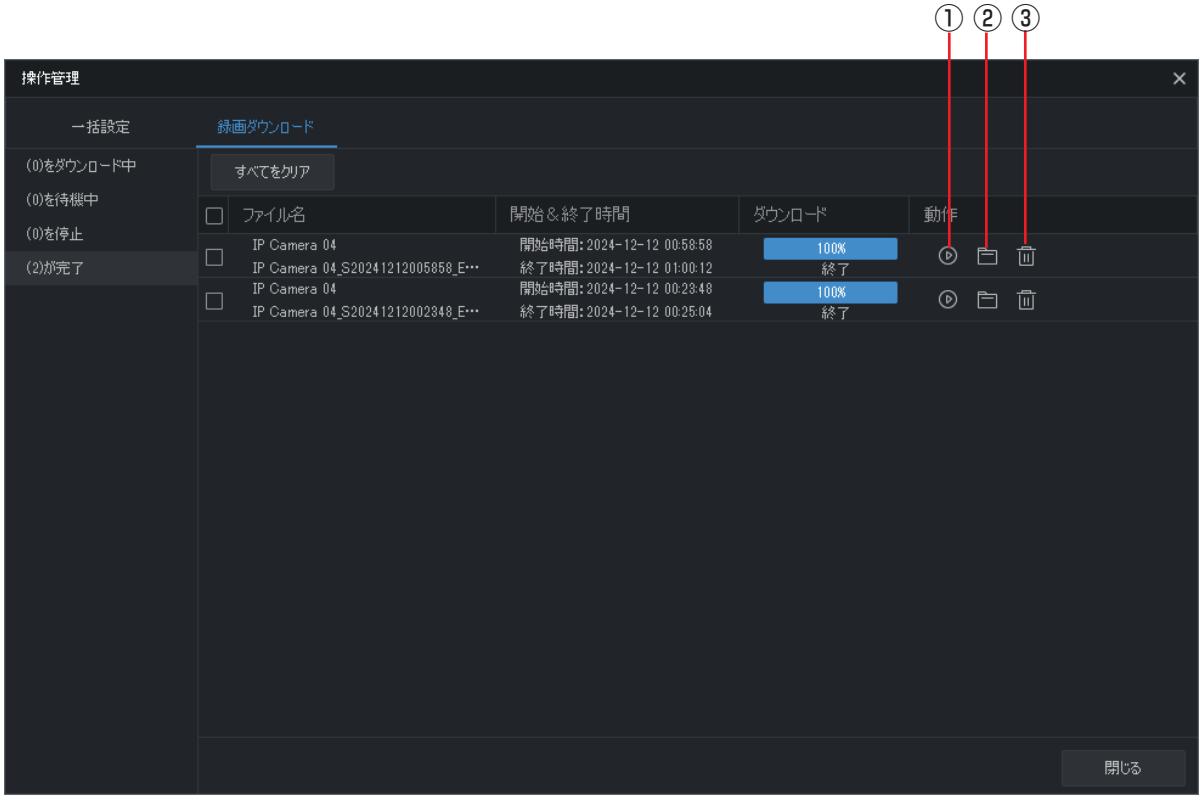


ダウンロードファイルを操作する

①をクリックするとファイルを再生します。

②をクリックすると保存フォルダを開きます。

③をクリックするとファイルを削除します。

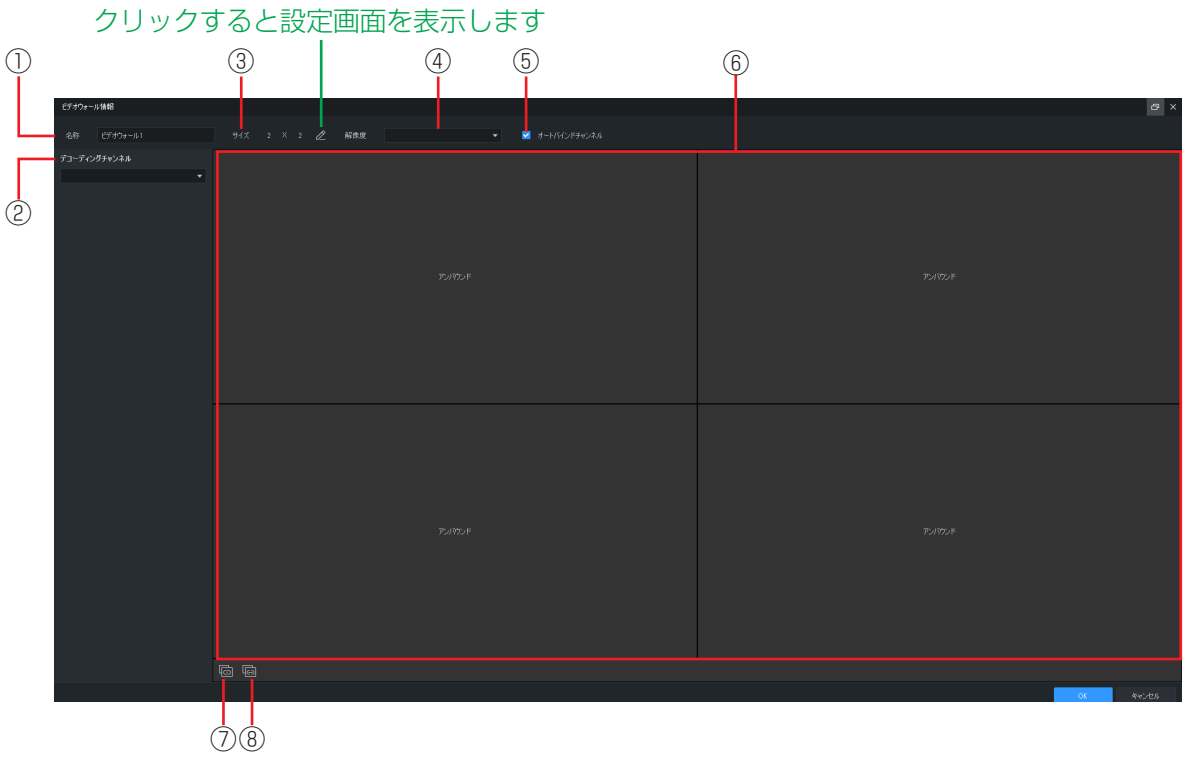


ビデオウォール

複数のディスプレイパネルに物理的に結合され、ひとつの大きな画面として表示します。
ビデオウォールの設定には、DX ビデオウォールとデコードカードビデオウォールの設定ができます。
- **DX ビデオウォールは、デジタルトランスフォーメーション（DX）の一環として使用されるテクノロジーを統合したビデオウォールの一種で、リモートからアクセスして、遠隔地のチームとのコミュニケーションを可能にします。**
- **DX ビデオウォールは、複数のディスプレイパネルで構成され映像が物理的に結合され、1 つの大きな画面を形成します。**

ビデオウォールの機能を使用するときは、ビデオウォール対応のモニターやシステムなどが必要です。ビデオウォールの構築に関しては、専門業者へご相談ください。

ビデオウォールの画面構成



①名称
ビデオウォールの名称が表示されます。名称を変更する場合は、新しい名前を入力します。

②デコーディングチャンネル
デコーディングチャンネルを選択します。

③サイズ
ビデオウォールのサイズ（行×列）、LED の幅と高さなどを設定します。

④解像度
ビデオウォールの解像度を設定します。

⑤オートバインドチャンネル
チャンネルを自動でバインドする場合は、チェックを入れます。

⑥ビデオウォール
ビデオウォールを表示します。

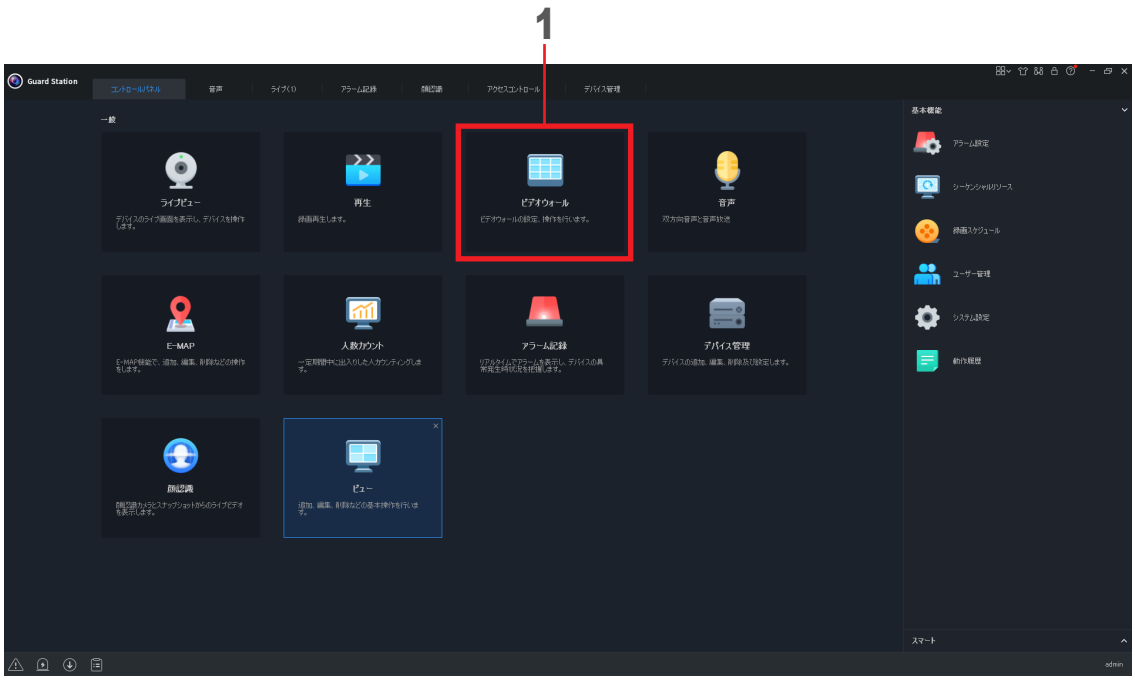
⑦すべてをバインド解除する
すべてのチャンネルをバインド解除します。

⑧すべてをバインドする
すべてのチャンネルをバインドします。

ビデオウォールを設定する

1 ビデオウォールをクリックする

コントロールパネルから［ビデオウォール］を選択します。

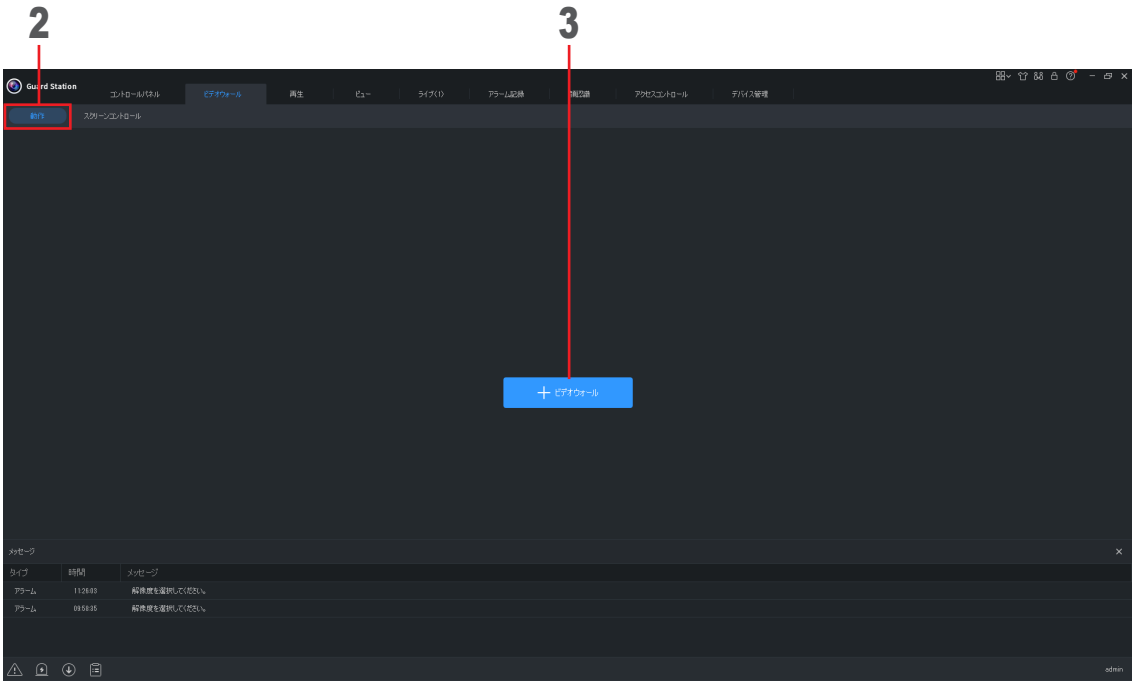


2 ［動作］を選択する

3 ビデオウォールを追加する

はじめて機能を使用するときは、＋ ビデオウォール をクリックして追加します。

[DX ビデオウォール追加] または [デコードカードビデオウオールを追加] を選択します。



4 ビデオウォール名を入力する

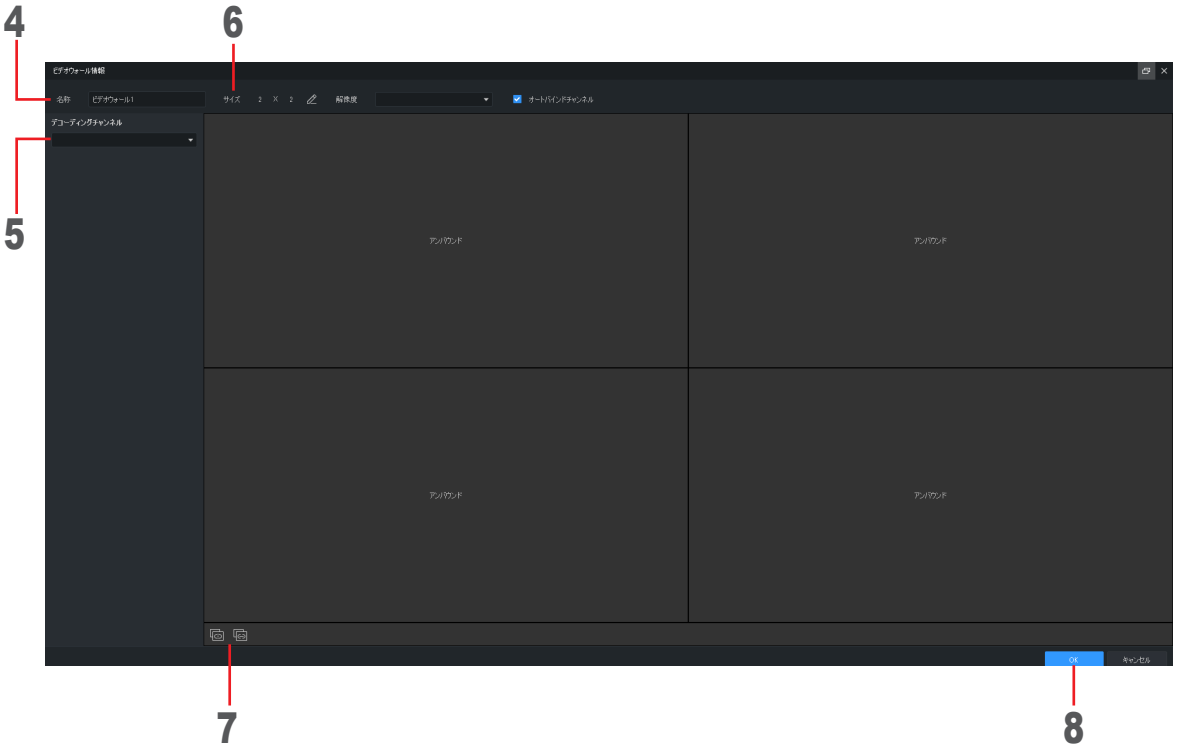
5 デコーディングチャンネルを選択する

6 ビデオウォールのサイズ、解像度を設定する

7 バインディングを編集する

［すべてをバインド解除する］または［すべてをバインドする］をクリックします。

8 ［OK］をクリックする



9 ［スクリーンコントロール］を選択する

［スクリーンコントロール］で小ピクセルピッチ LED 画面などの 画面をオン / オフできます。

クライアントで操作する前に、画面、配電盤（LED 画面用）、サーバが適切に接続されていることを確認してください。

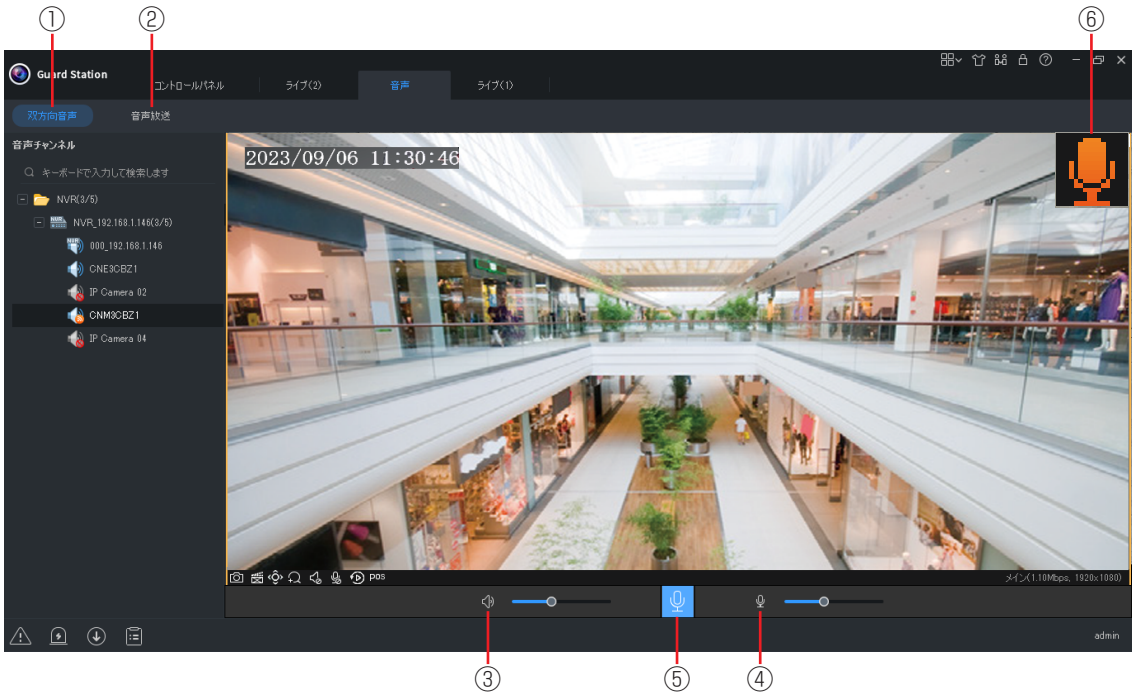


音声

双方向音声、音声放送などを実行します。

双方向音声、音声放送などを、同時に起動することができません。

音声の画面構成



①双方向音声
双方向音声を行います。

②音声放送
音声放送を行います（➡ 29 ページ）。
音声放送には、ブロードキャストなどがあります。双方向音声は、ブロードキャストと同時には動作しません。すなわち 、双方向音声を起動するとブロードキャストが停止し、ブロードキャストを起動すると双方向音声が停止します。

③ミュート
デバイスのスピーカーのミュートの切り換えを行ったり、音量を調整したりできます。

④マイク
デバイスのマイクのオン / オフを切り換えたり、音量を調整したりできます。

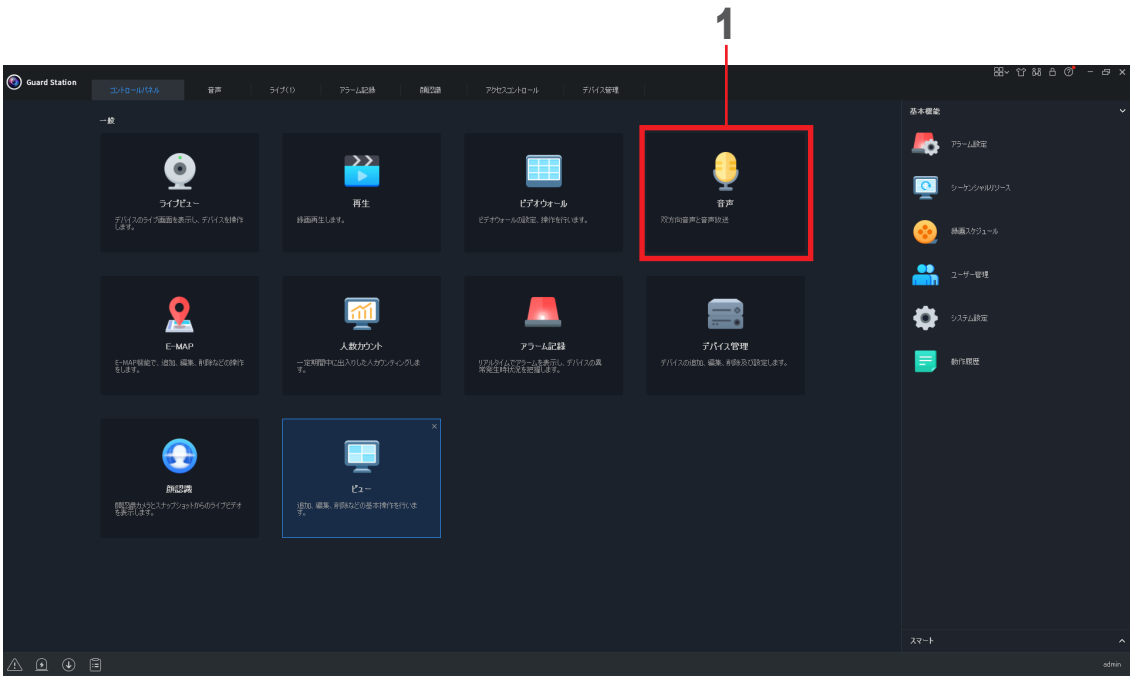
⑤双方向音声開始 / 停止
クリックするたびに双方向音声の開始 / 停止を切り換えます。

⑥双方向音声作動状態
双方向音声が作動中のときは、点滅します。

双方向音声を実行する

1 音声をクリックする

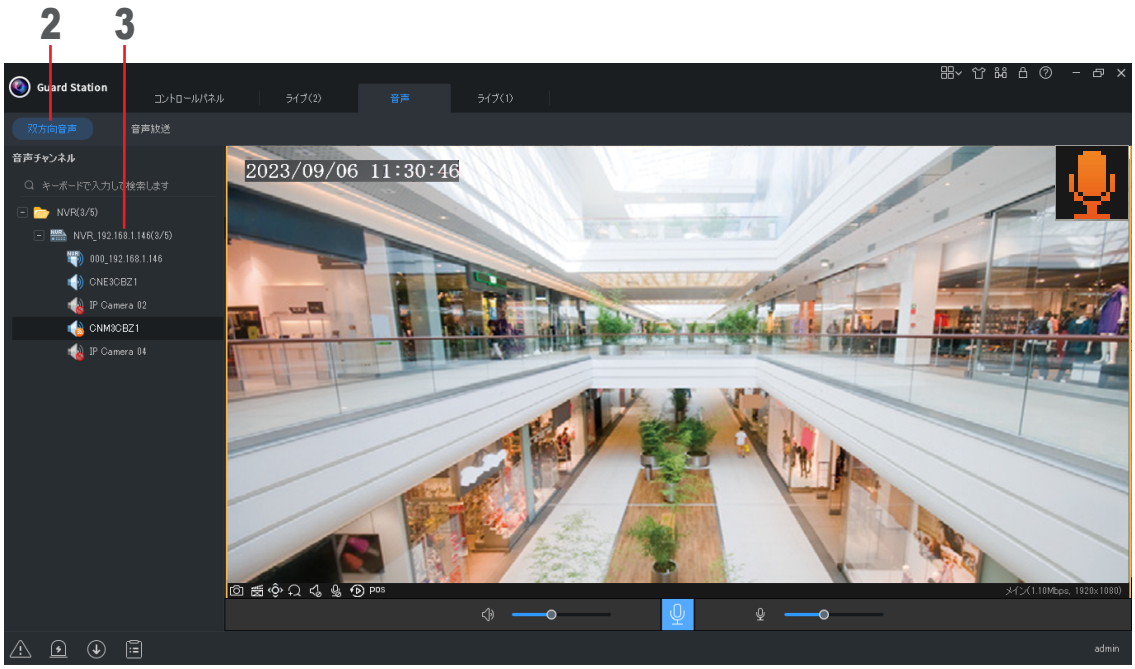
コントロールパネルから［音声］を選択します。



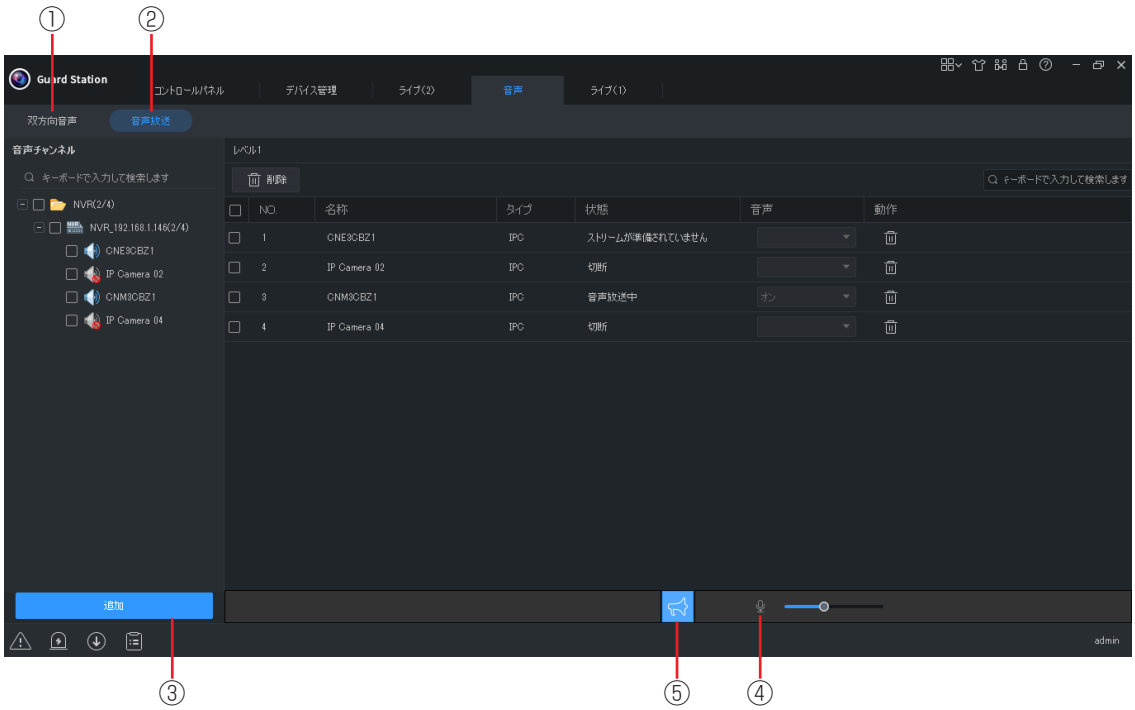
2 ［双方向音声］をクリックする

3 双方向音声を実行する音声チャンネルを選択する

実行する音声チャンネルをダブルクリックする。



音声放送の画面構成



①双方向音声
双方向音声を行います（➡ 27 ページ）。

②音声放送
音声放送を行います。

③追加
追加したいデバイスを追加します。

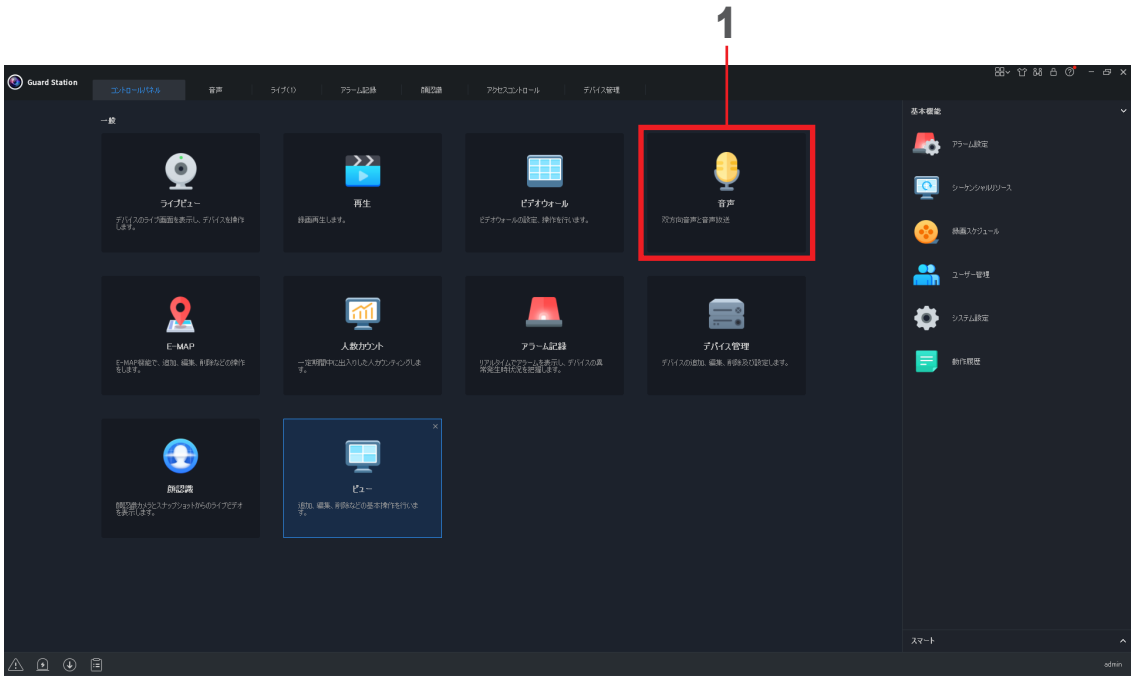
④マイク
デバイスのマイクのオン / オフを切り換えたり、音量を調整したりできます。

⑤起動
音声放送を起動します。

音声放送を実行する

1 音声をクリックする

コントロールパネルから［音声］を選択します。



2 ［音声放送］をクリックする

3 音声チャンネルを選択する

実行する音声チャンネルにチェックを入れて、その階層の下の音声チャンネルをすべて選択します。

4 ［追加］をクリックする

5 音声放送を起動する

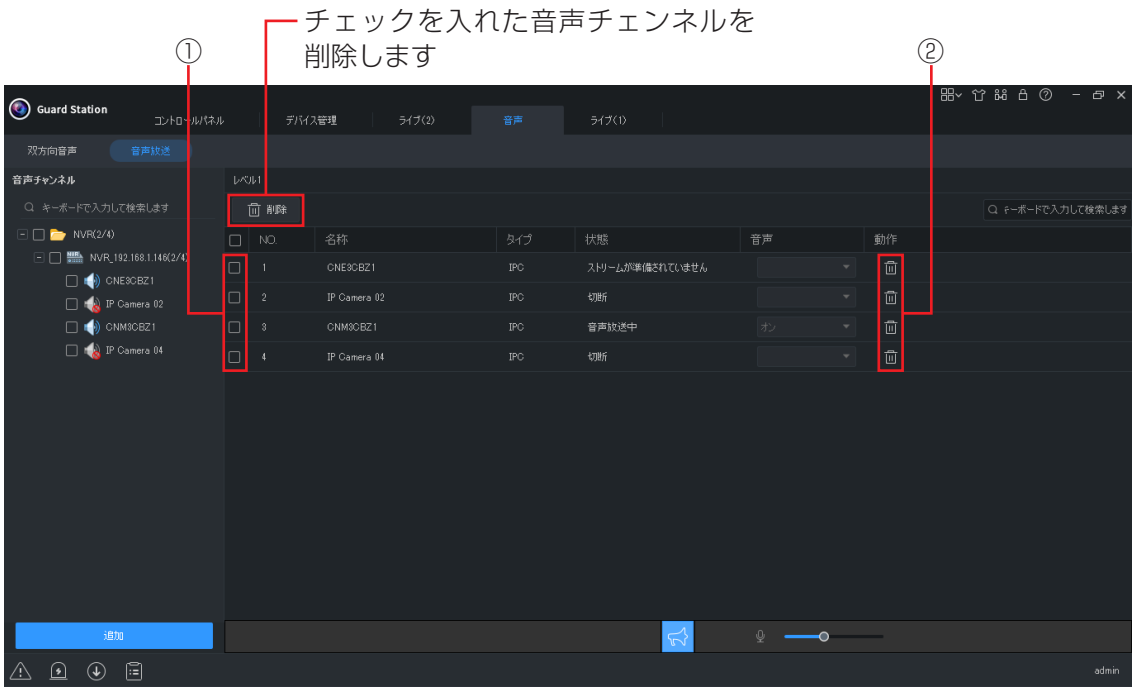
 をクリックします。再度クリックすると音声放送を終了します。



＜音声チャンネルの削除＞

①チェックマークを入れたすべての音声チャンネルを削除します。

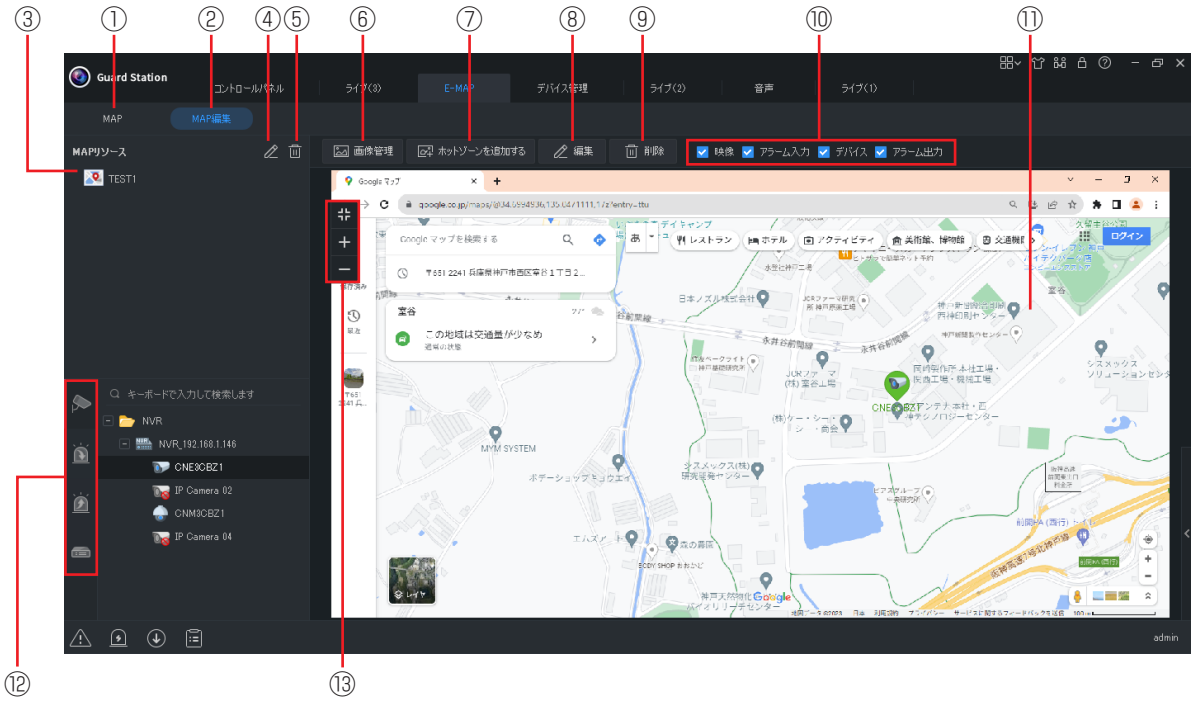
②個別で音声チャンネルを削除します。



E-MAP

マップを使用し、デバイスのホットスポットを追加、編集、削除ができます。

E-MAP の画面構成



①MAP
MAP リソースを表示します。

②MAP 編集
MAP リソースのマップを編集・削除ができるようになります。

③MAP リソース
MAP 一覧を表示します。

④編集
MAP リソースのマップを編集できます。

⑤削除
MAP リソースのマップを削除できます。

⑥画像管理
MAP として使用する画像を追加、削除ができます。

⑦ホットゾーンを追加する
マップにホットゾーンを追加します。[③MAP リソース] のマップを選択し、このボタンをクリックすると、MAP 追加画面が表示されます。MAP 名、MAP 画像、アイコンカラーを設定し、追加をクリックします。

⑧ホットスポット情報編集
ホットスポット情報を編集できます。ホットスポットを選択し、このボタンをクリックするとホットスポット情報画面が表示されます。

⑨ホットスポット削除
ホットスポットを削除をすることができます。

⑩マップリソースのフィルタリング
チェックを入れると、マップに表示するマップリソースをフィルタリングします。

⑪マップ
マップおよびホットスポットを表示します。

⑫ホットスポットの種類
ホットスポットの種類を選択します。

ビデオチャンネル	ビデオチャンネルを表示します
アラーム入力	アラーム入力を表示します
アラーム出力	アラーム出力を表示します
デバイス	デバイスを表示します

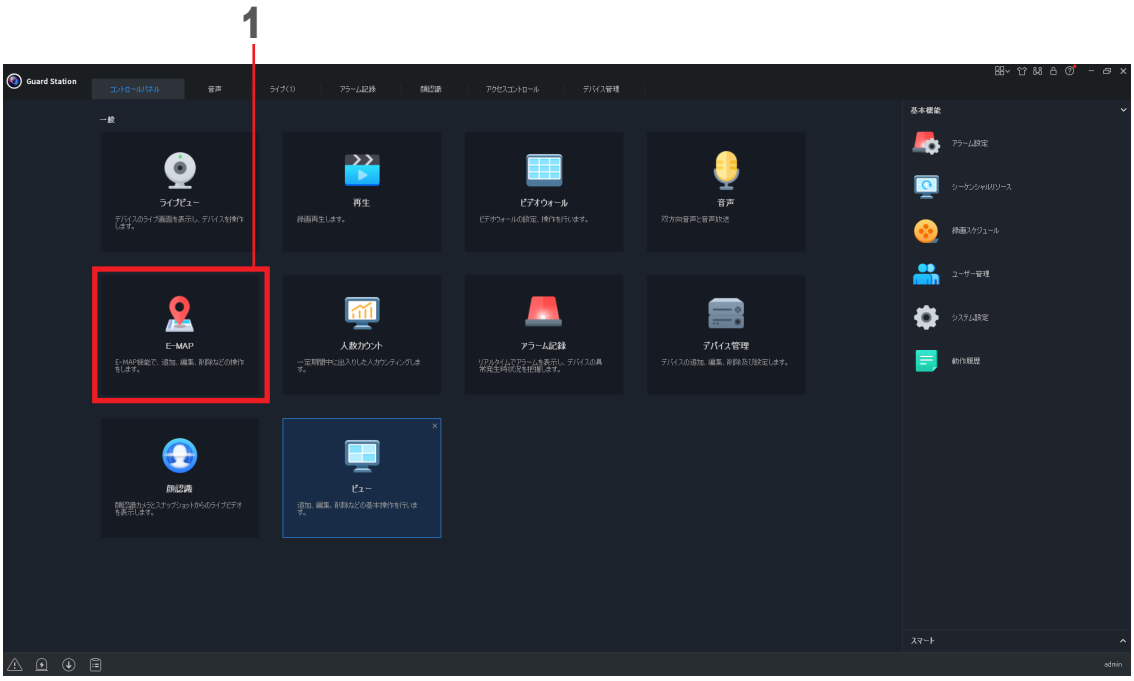
⑬マップ表示切替
マップ表示を切り換えます。

全体表示	マップを全体表示にします
拡大	マップを拡大します
縮小	マップを縮小します

E-MAP を設定する

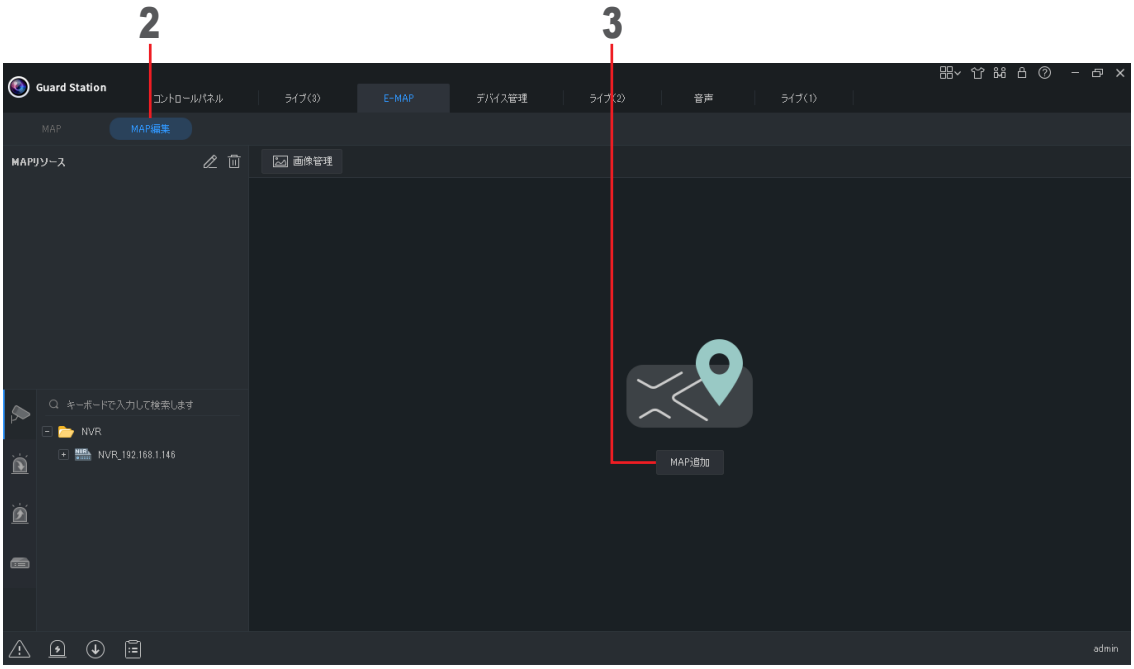
1 E-MAP をクリックする

コントロールパネルから［E-MAP］を選択します。



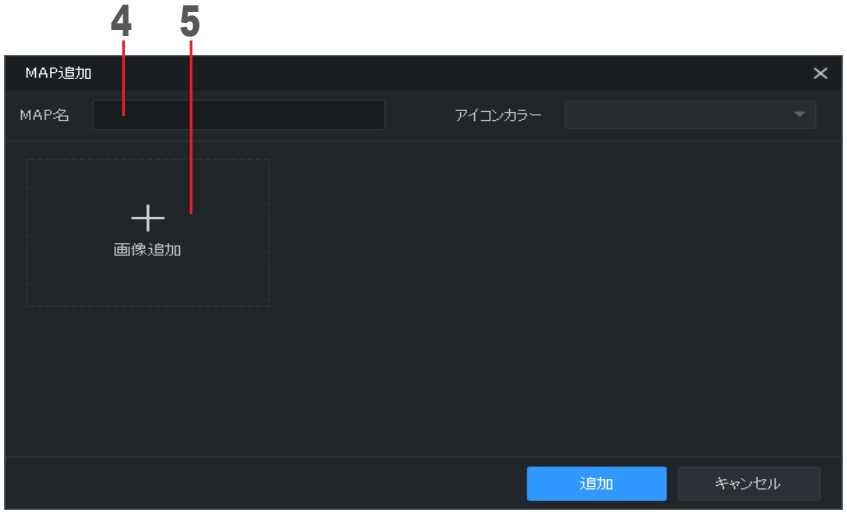
2 ［MAP 編集］をクリックする

3 ［MAP 追加］をクリックする



4 MAP 名を入力する

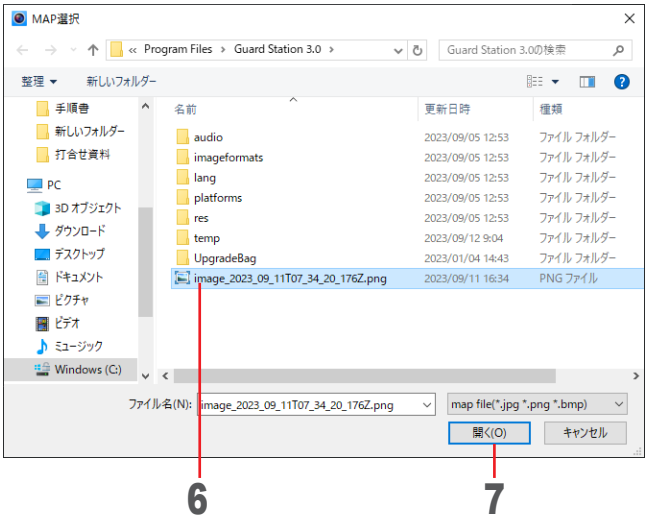
5 [画像追加] をクリックする



6 追加する MAP 画像を選択する

使用するマップ画像（PNG,BMP,JPEG）を事前にパソコンに取り込んでおいてください。

7 [開く] をクリックする



8 使用する MAP 画像をクリックする

9 [追加] をクリックする



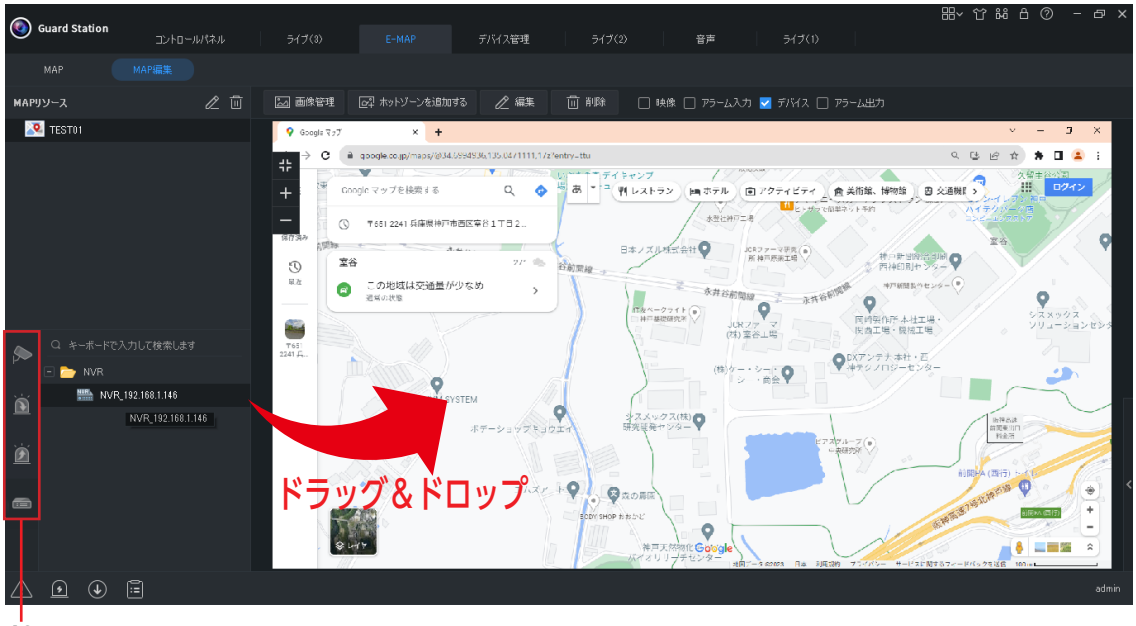
10 ホットスポットの種類をクリックする

(➡ 32 ページ⑫)

11 追加するホットスポットをマップにドラッグ＆ドロップする

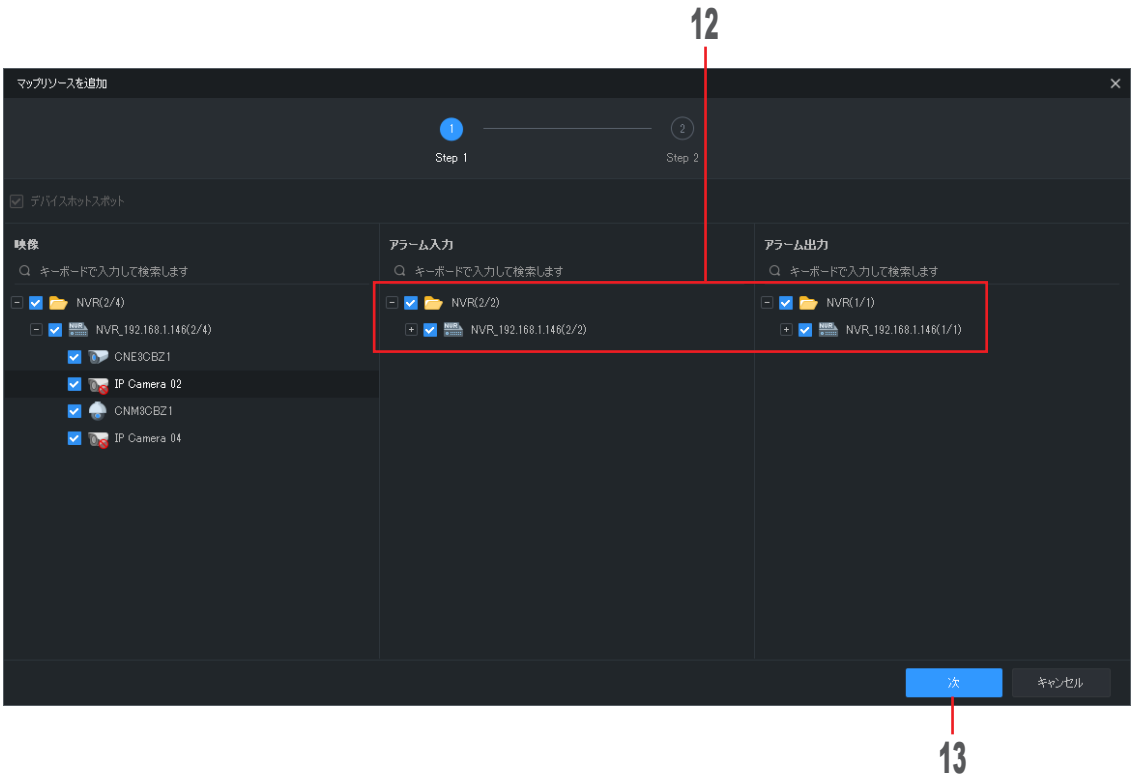
・ホットスポットの種類がビデオチャンネル、アラーム入力、アラーム出力の場合は、手順 **16** へ進む

・ホットスポットの種類がデバイスの場合は、手順 **12** へ進む



12 追加するホットスポットにチェックを入れる

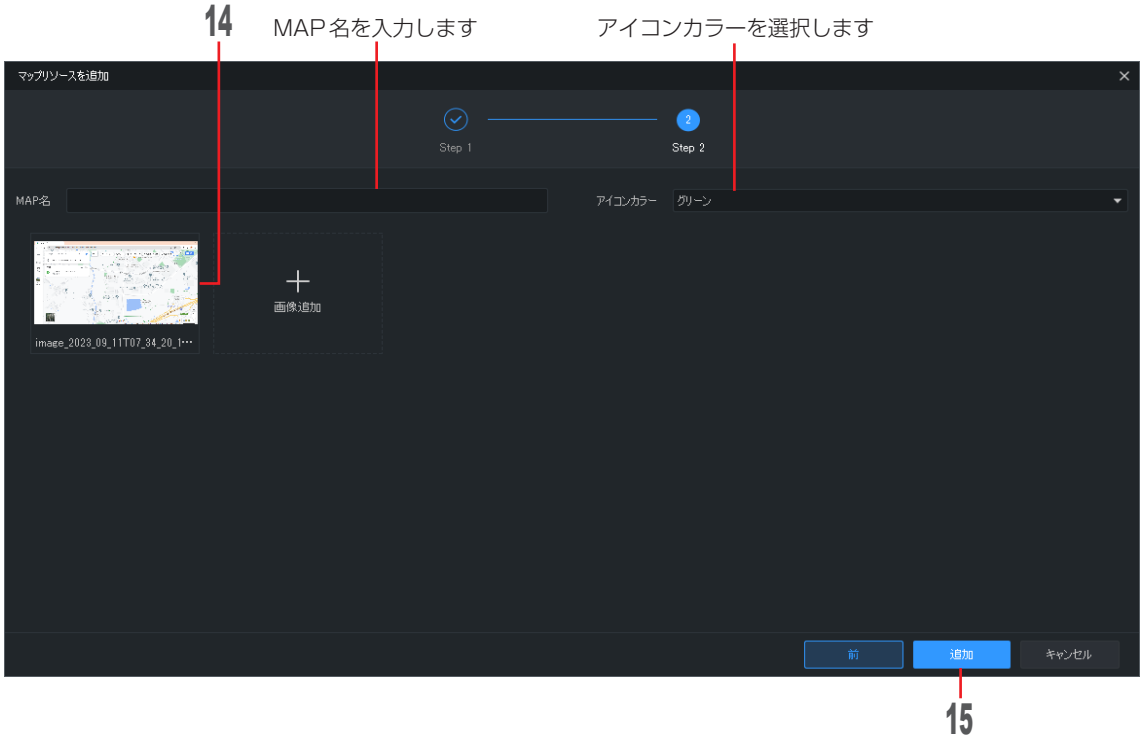
13 [次] をクリックする



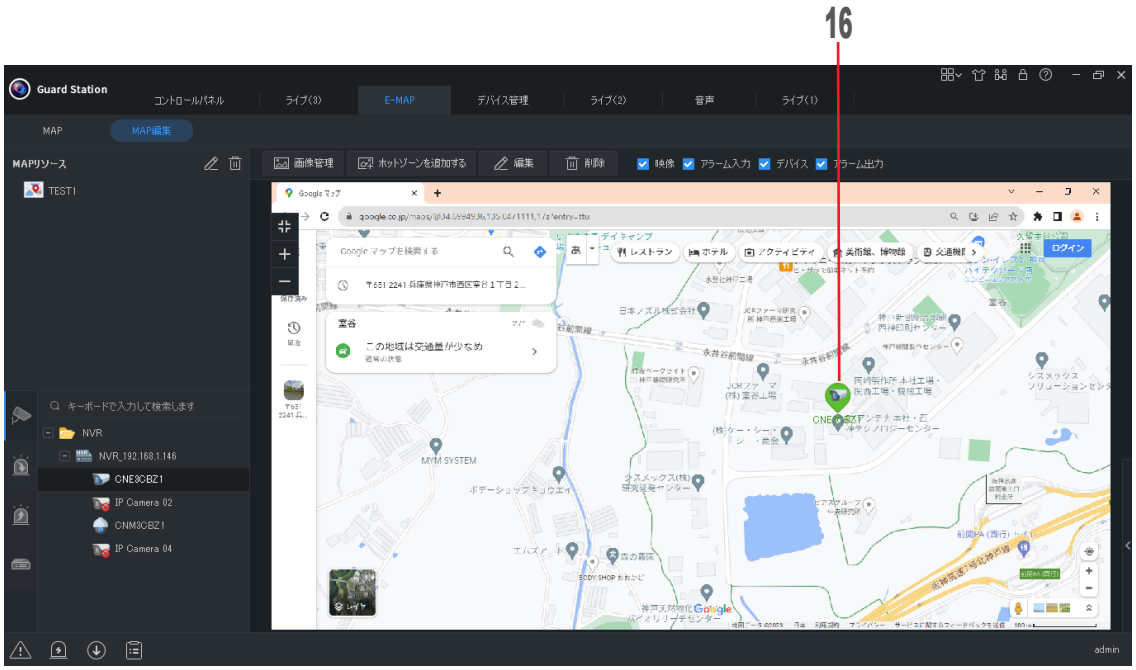
14 使用する MAP 画像をクリックして MAP 名を入力する

15 [追加] をクリックする

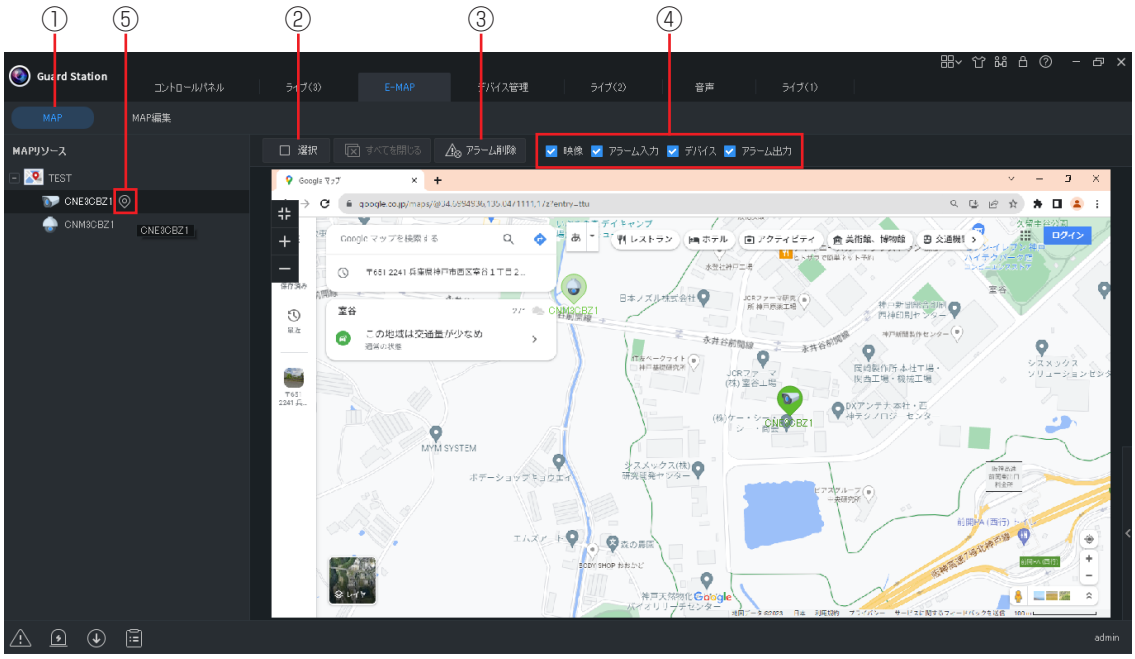
MAP 画像を追加する場合は、追加する MAP を選択します。



16 ホットスポットが追加される



マップのホットスポットを監視する画面構成



① MAP
MAP リソースを表示します。

②選択
この機能は使用できません。

③アラーム解除
アラームが発生すると、ホットスポットに赤色が点滅します。[アラーム解除] を押すと、点滅を解除します。

④マップリソースのフィルタリング
チェックを入れると、マップに表示するマップリソースをフィルタリングします。

⑤定位アイコン
追加したホットスポットをマップ上で検索できます。右クリックすると、[ライブビュー]、[再生]、[アラーム情報表示]、[アラーム削除] を選択できます。

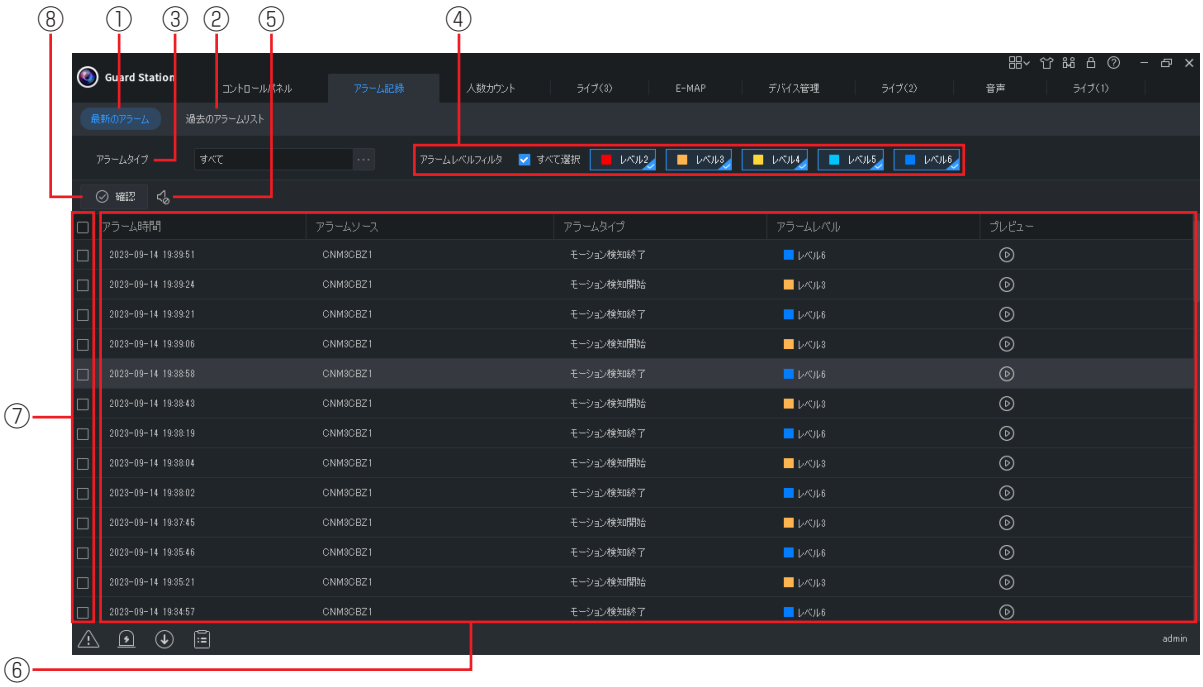
アラーム記録

リアルタイムでアラームを表示し、デバイスの異常発生状況を把握します。

アラーム記録の画面構成

■最新のアラームリストを表示

現在のログイン後に発生したアラームがリスト表示されます。リストは自動的に更新されます。



①最新のアラーム
最新のアラームリストを表示します。

②過去のアラームリスト
過去のアラームリストを表示します。

③アラームタイプ
リストに表示するアラームタイプを設定します。

④アラームレベルフィルタ
リストに表示するアラームのレベルを設定します。

⑤アラーム音声
アラーム音声をミュート とミュート解除に切り換えます。

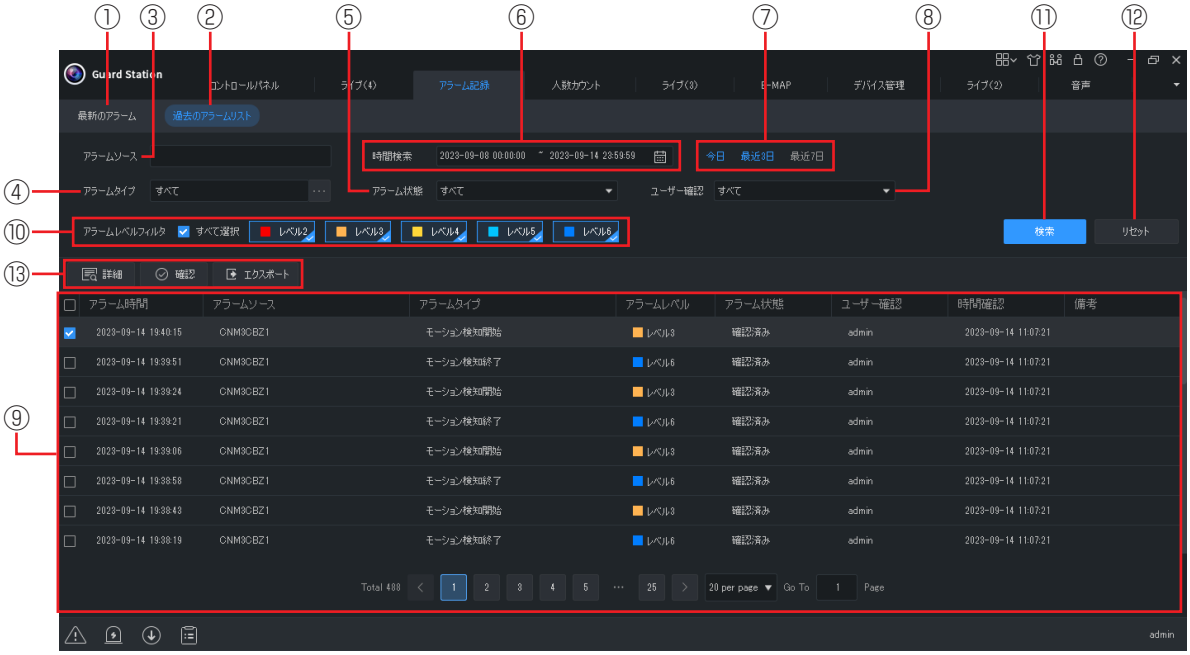
⑥アラーム記録一覧
アラーム時間、アラームソース、アラームタイプ、アラームレベルが表示されます。
をクリックするとプレビュー画面を表示します。

⑦選択
確認するアラームにチェックマークを入れます。

⑧確認
[アラーム記録一覧] でチェックを入れたアラームに履歴確認画面が表示され、[OK] をクリックすると、アラーム記録一覧からアラーム履歴が消去されます。確認したアラーム記録は、[過去のアラームリスト] から確認できます。

■過去のアラームリストを表示

履歴アラームがリスト表示されます。



①最新のアラーム
最新のアラームリストを表示します。

②過去のアラームリスト
過去のアラームリストを表示します。

③アラームソース
アラーム記録の対象とするデバイスの型番や IP アドレスなどを 64 文字以内で入力します。

④アラームタイプ
リストに表示するアラームタイプを設定します。

⑤アラーム状態
表示するアラームの確認状態を選択します。

⑥時間検索
アラーム記録の対象期間を設定します。

⑦表示日数
アラーム記録の表示日数を選択します。

⑧ユーザー確認
アラーム記録を確認したユーザーを選択します。

⑨アラーム記録一覧
アラーム時間、アラームソース、アラームタイプ、アラームレベル、アラーム状態、ユーザー確認、時間確認が表示されます。

⑩アラームレベルフィルタ
リストに表示するアラームのレベルを設定します。

⑪検索
設定した条件と一致するアラーム記録を［アラーム記録一覧］に表示します。

⑫リセット
検索条件をリセットします。

⑬操作

- **詳細**
  ［アラーム記録一覧］でチェックを入れ、このボタンをクリックすると、アラーム詳細画面が表示されます。
- **確認**
  ［アラーム記録一覧］でチェックを入れた［未確認］のアラームが、［確認済］になります。
- **エクスポート**
  ［アラーム記録一覧］を CSV 形式のファイルでエクスポートします。

■アラームレベル

アラームレベルとそれに対応するアラームタイプは以下の通りです。

アラームレベル	アラームタイプ
レベル2	手動アラーム
レベル3	デバイスオフライン、動体検知、アラーム入力、クロスライン検知、侵入検知、音声検知、顔検知、デフォーカス検知、シーン変更検知、自動追尾、人体検知、ビデオロス検知など
レベル４	デバイスオンライン
レベル5	アラームを確認して保留している状態（画面には表示されません）
レベル６	動体検知終了、アラーム入力終了、音声検知終了、自動追尾終了、ビデオロス解消など

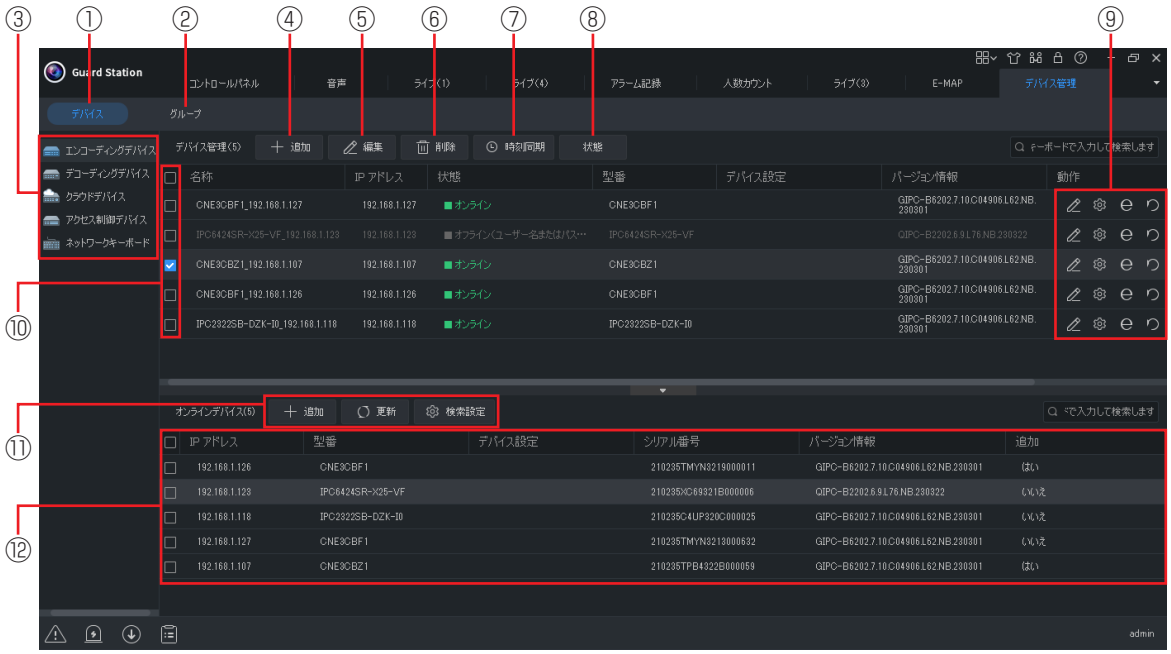
デバイス管理

デバイスを追加、編集、削除および設定を握します。

デバイス管理の画面構成

■エンコーディングデバイス

カメラやネットワークレコーダーを登録します。



①デバイス
登録可能または登録済のデバイスリストを表示します。

②グループ
グループ登録しているデバイスリストを表示します。

③登録画面
デバイスを登録している画面を表示します。

④デバイス追加
デバイスを追加できます。

⑤デバイス編集
チェックを入れたデバイス情報を編集することができます。

⑥デバイス削除
チェックを入れたデバイスを削除できます。

⑦時刻同期
デバイスとパソコンの時刻を同期します。

⑧状態
オンラインになっているデバイスの状態を確認できます。デバイス名称、デバイスタイプ、IP アドレス、状態、録画、ストレージ媒体の状態（空き / 合計）を一覧表示されます。

⑨動作

デバイス情報編集	デバイス情報を変更します
デバイス設定	デバイスの Web 設定画面を表示せずに設定を変更できます
Web 設定画面	デバイスの Web 設定画面にアクセスします
再起動	デバイスを再起動します

⑩チェックマーク
チェックマークを入れたデバイスの設定や削除ができます。

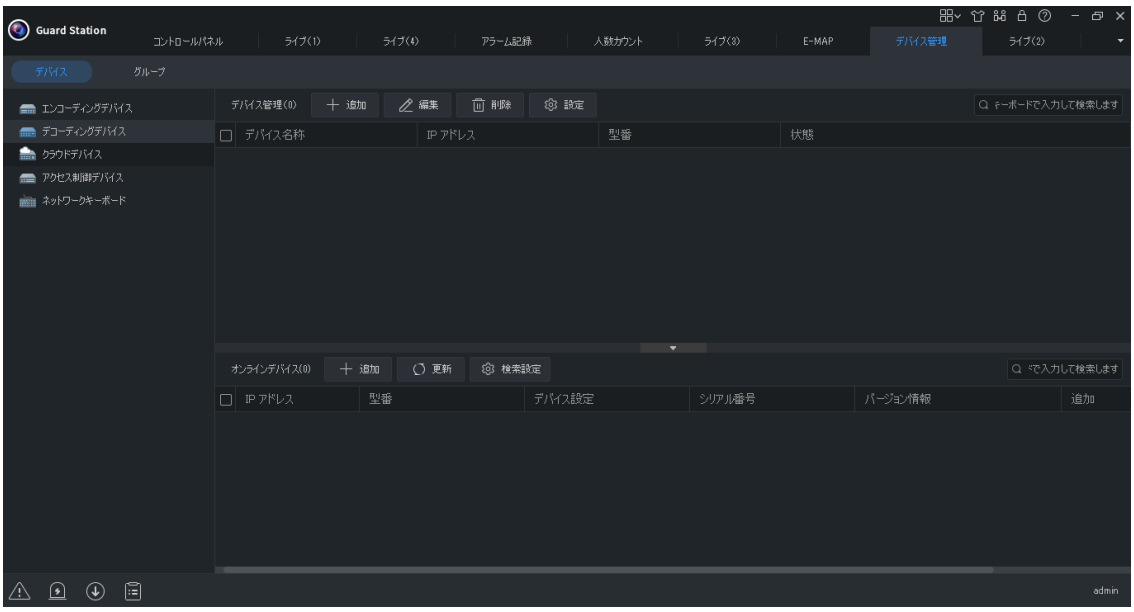
⑪オンラインデバイス操作ボタン
- **追加**
  デバイスを [グループ] または [デバイス] に追加します
- **更新**
  オンラインデバイスの表示を更新します。
- **検索設定**
  オンラインデバイスの検索範囲を設定します。

⑫オンラインデバイス
オンラインになっているデバイスが一覧表示されます。

■デコーディングデバイス

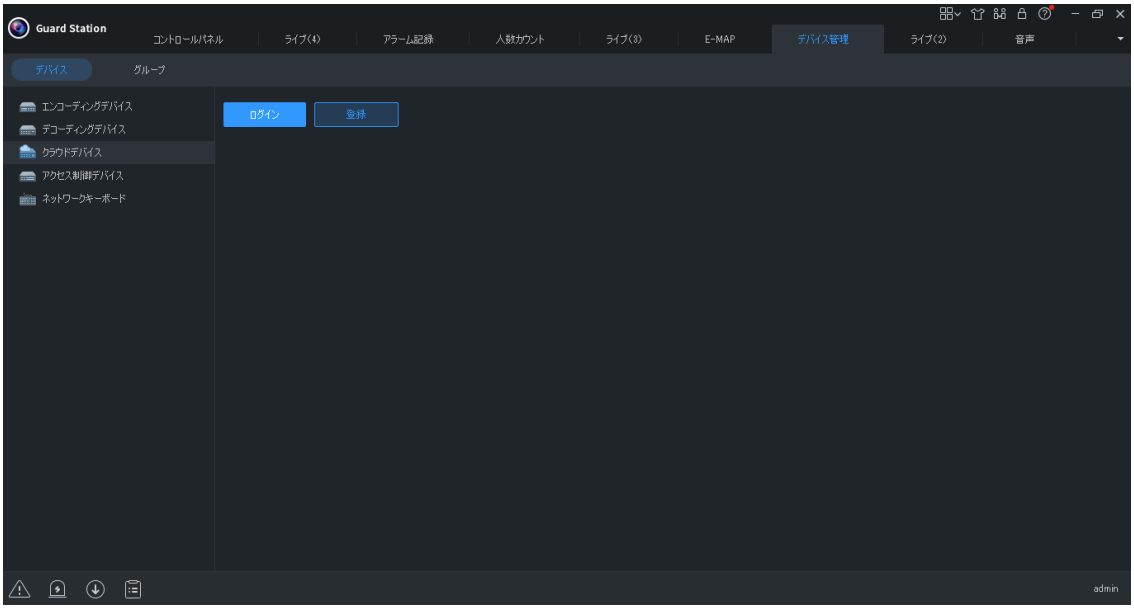
ビデオウォール機能を使用する前にデコーディングデバイスを追加する必要があります（登録手順はエンコーディングデバイスと同じです（➡ 43 ページ））。

ビデオウォールの機能を使用するときは、ビデオウォール対応のモニターやシステムなどが必要です。ビデオウォールの構築に関しては、専門業者へご相談ください。



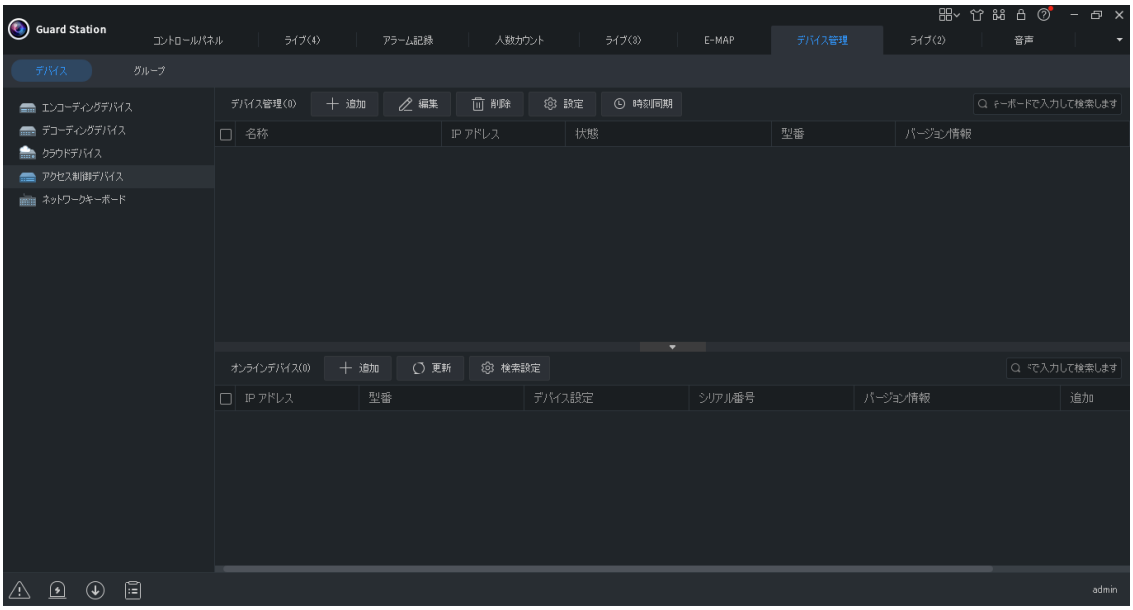
■クラウドデバイス

ほかのクラウドアカウントと共有しているデバイスなどを同時に管理できます。



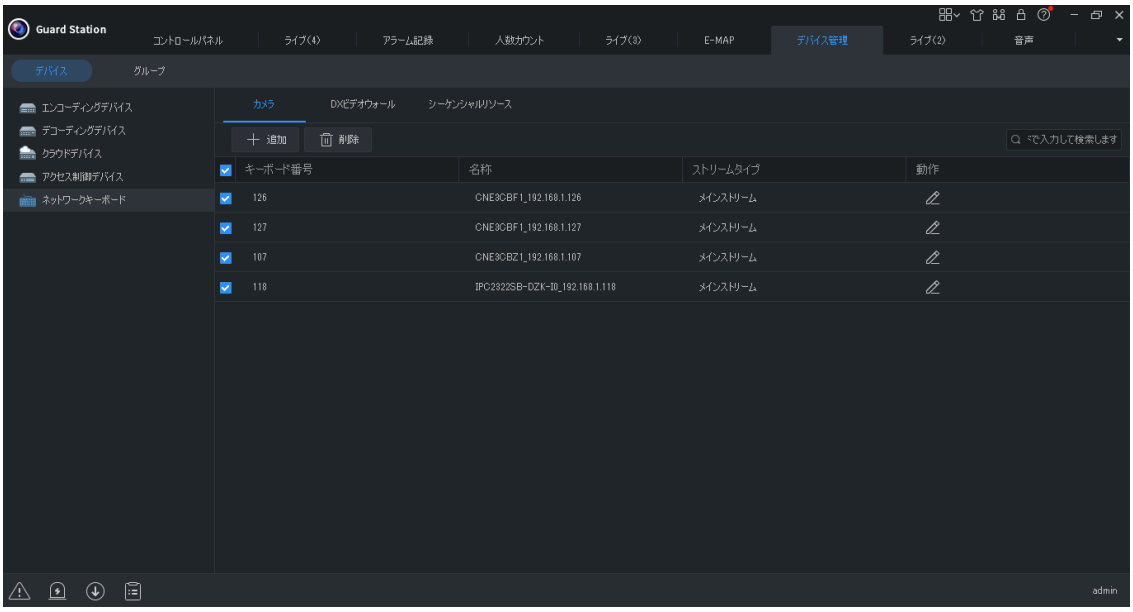
■アクセス制御デバイス

登録手順はエンコーディングデバイスと同じです（➡ 43 ページ）。



■ネットワークキーボード

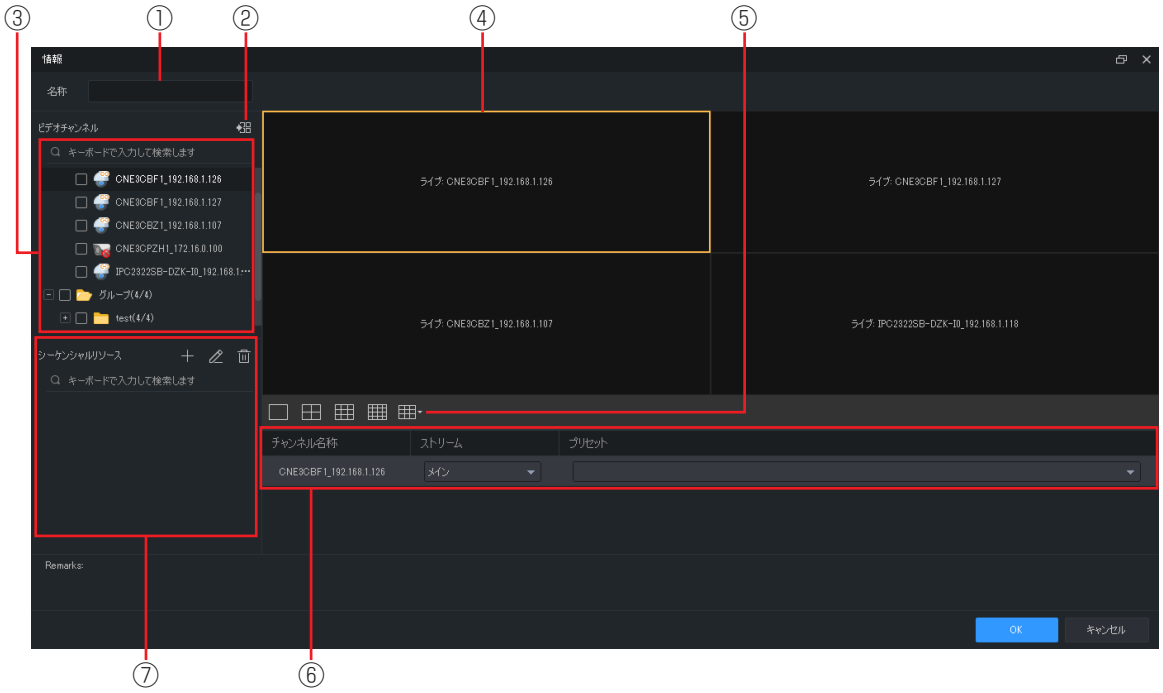
ネットワークキーボードを使用すると、ビデオウォールのライブビデオ、再生、PTZ カメラ、シーケンスリソースを制御することができます。



ビュー

ビュー（ライブビュー）を表示するための分割表示（カスタムビュー）およびシーケンシャルリソースを追加、編集、削除ができます。

ビューの画面構成



①名称
ライブビューの名称を入力します。

②ビュー追加
ライブビューを追加します。ライブビューを割り当てる［④ライブビュー画面］をクリックし、［③ビデオチャンネル］にチェックを入れてから、クリックします。ストリームの選択画面が表示されるので、選択後［OK］をクリックします。

③ビデオチャンネル
ビデオチャンネルが表示されます。

④ライブビュー画面
ビデオチャンネルのカメラ映像が表示されます。

⑤分割画面
ライブビュー画面の分割数を変更できます。

⑥ビデオチャンネル詳細
ライブビュー画面に割り当てたビデオチャンネルのチャンネル名称、ストリームタイプ、プリセットが表示されます数を変更できます。

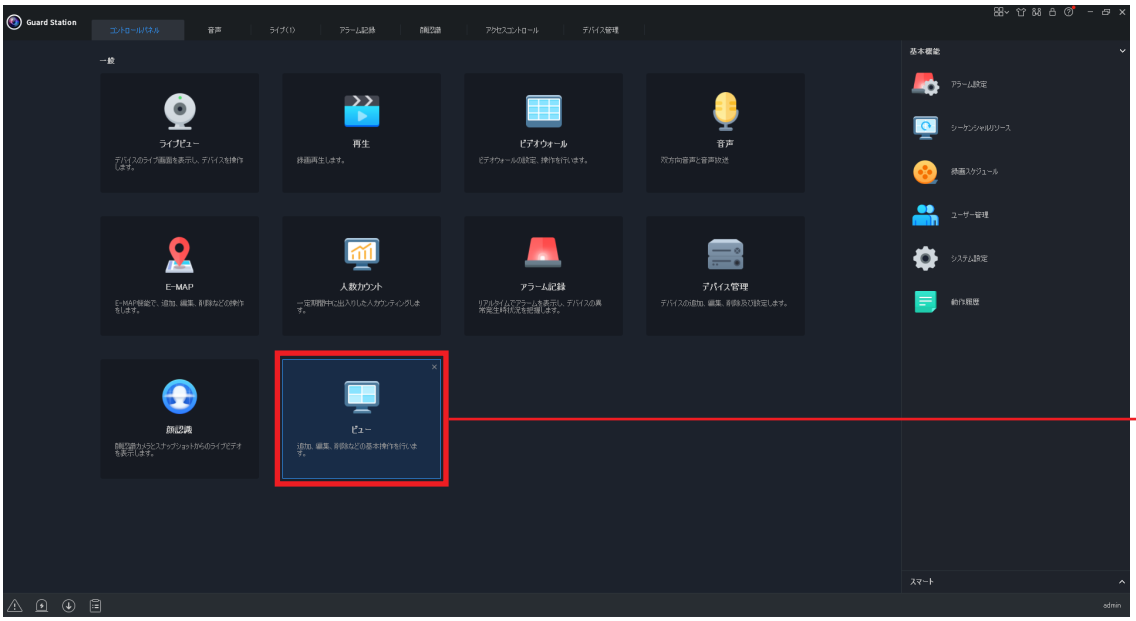
⑦シーケンシャルリソース
設定をすることで、映像を画面に 1 つずつ再生します。

追加	シーケンシャルリソースを追加します
編集	シーケンシャルリソースを変更できます
削除	シーケンシャルリソースを削除できます

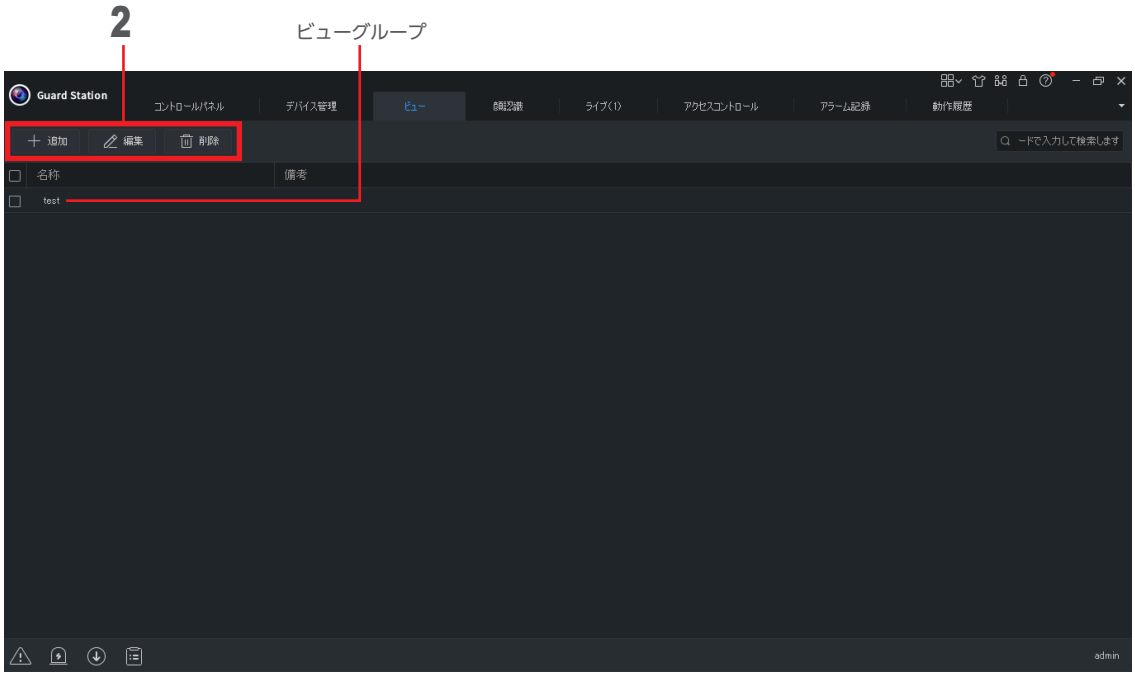
ビューの追加 / 編集 / 削除

1 ビューをクリックする

コントロールパネルから［ビュー］を選択します。



2 ［追加］［編集］［削除］を選択する



・［追加］を選択すると［ビューグループ］追加することができます。

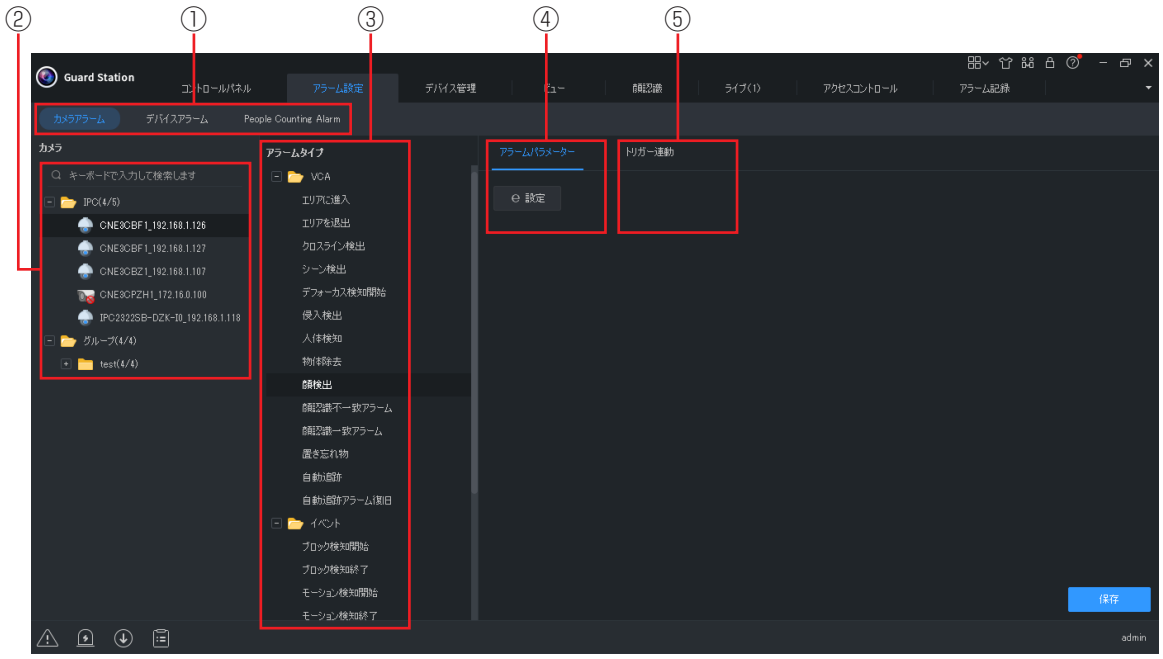
・［編集］を設定するときは、編集する［ビューグループ］を選択してからクリックしてください。

・［削除］を選択するときは、削除する［ビューグループ］を選択してからクリックしてください。

アラーム設定

連動スケジュールとアラームを設定します。設定した機能は、正しく動作しないことがあります。その際の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

アラームの画面構成



①アラームの種類
アラームを設定する対象をクリックします。

②カメラ / デバイス
[①アラームの種類] で選択したオンラインカメラまたはデバイスが表示されます。

③アラームタイプ
設定するアラームタイプをクリックします。

④アラームパラメータ
[設定] をクリックすると、カメラまたはデバイスの Web 設定画面を表示します。設定方法は、カメラの詳細マニュアルをご確認ください。

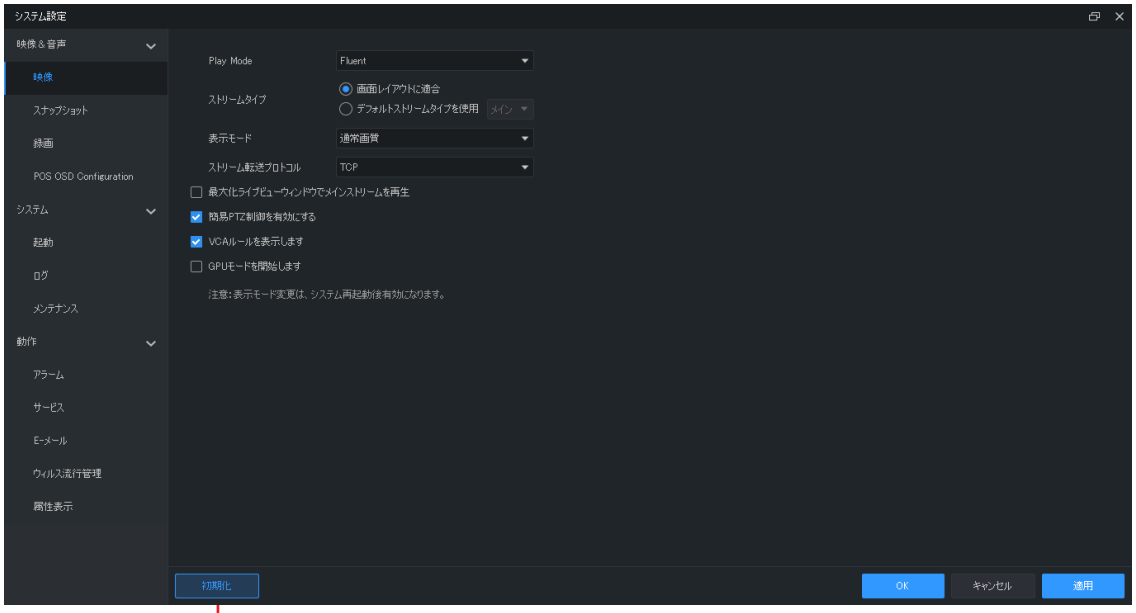
⑤トリガー連動
アラームと連動するカメラまたはデバイスを追加・削除します。

追加	カメラまたはデバイスを追加できます。
削除	カメラまたはデバイスを削除できます。
メール送信	アラーム発生時にメールを送信する場合は、チェックを入れます。
メール設定	システム設定画面のEメールが表示されます。
連動カメラ	アラーム発生時に連動するカメラまたはデバイスが表示されます。
ライブビュー	アラーム発生時に連動表示するライブビューの表示時間を選択します。
プリセット移動	アラーム発生時のプリセット移動値を選択します。
アラーム出力	アラーム発生時のアラーム出力を選択します。
ビデオウォールへ	アラーム発生時のライブビューをビデオウォールで表示します。

システム設定

本アプリのパラメータを設定できます。

システム設定の画面構成



工場出荷状態にします

パラメータ			説明内容
映像＆音声	映像	Play Mode	再生モードを設定できます。 **Min.Delay（※）** ビデオの遅延がなくなる、または最小限になりますが、ビデオの画質が劣化することがあります。 **Balanced（※）** ビデオの遅延とスムーズさのバランスです。 **Fluent（※）** ネットワーク状況が悪いとビデオの遅延が発生することがありますが、ビデオのスムーズさは向上します。
		ストリームタイプ	**画面レイアウト適合** ウィンドウ数に応じてストリームタイプを選択します。 **デフォルトストリームタイプを使用** メイン / サブ / サードを選択します。
		表示モード	画質の設定を行います。
		ストリーム転送プロトコル	カメラがビデオデータを送信する送信プロトコルです。 **TCP** ネットワークの接続状態が不安定または悪い場合にお勧めです。 **UDP** ネットワークの接続状態が不安定でも映像を素早く見たい場合にお勧めです。（社内ネットワークなどで UDP 通信が規制されて映像が映らない場合は TCP をお試しください）
		最大化ライブビューウィンドウでメインストリームを再生	チェックを入れるとライブビューウィンドウを最大化するときに、現在のストリームタイプは自動的にメインストリームに切り換わります。

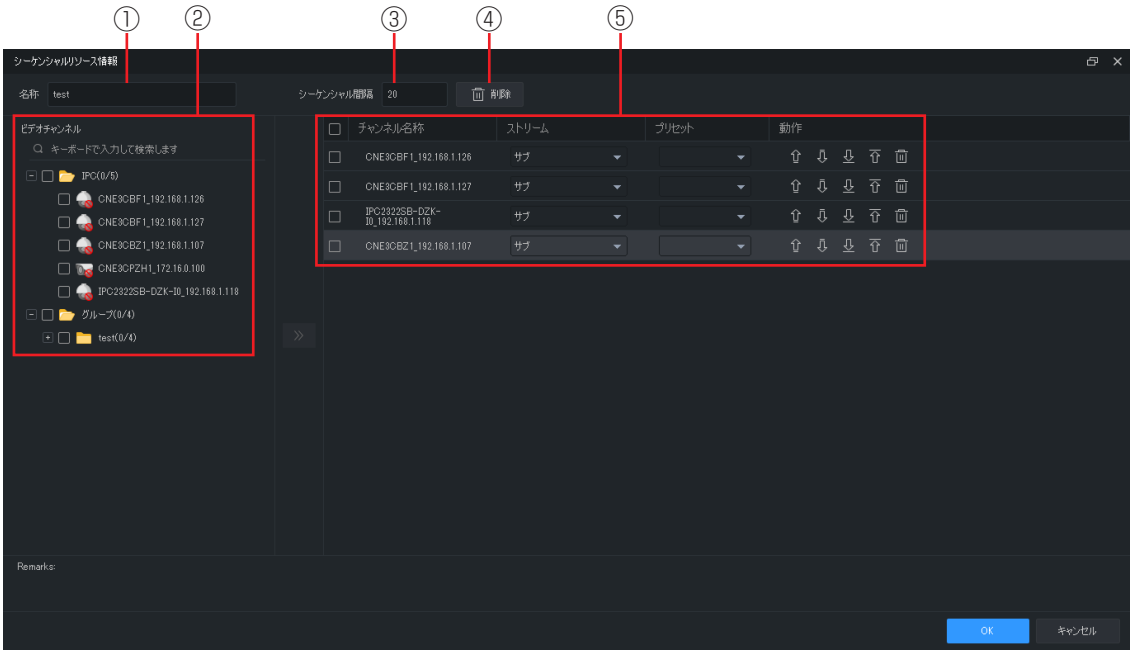
パラメータ			説明内容
映像&音声	映像	簡易 PTZ 制御を有効にする	PTZ コントロールパネルが利用できます。（※）
		VCA ルールを表示します	カメラのライブビューに VCA が表示されます。（※）
		GPU モードを開始します	これを有効にすると、ソフトウェアは、さらに多くのカメラでストリーミングを起動できます。 このオプションを有効にすると、サポートされるエンコーディングフォーマット（H.264 や H.265 など）が表示されます。
	スナップショット	スナップショットモード	オートまたはマニュアルを選択します。
		連続スナップショット間隔	連続で撮影するスナップショットの撮影間隔を設定します。
		連続スナップショット枚数	連続で撮影するスナップショットの撮影枚数を設定します。
		スナップショット形式	スナップショットの保存形式を設定します。
		写真保存先	スナップショットの保存先を設定します。
	録画	ダウンロード録画保存先	ダウンロード録画保存先を設定します。
		ダウンロード録画形式	ダウンロード録画形式を設定します。
		ローカル録画保存先	ローカル録画の保存先を設定します。
		ローカル録画形式	ローカル録画形式を設定します。
		HDD が満杯の場合	HDD が満杯になった時に上書きする、または、しないの設定をします。
		録画スペース	録画の空き容量を設定します。
		録画ファイルのサイズについて	録画ファイルのサイズを設定します。
	POS OSD Configuration	Display Area	ライブビューの OSD 表示位置を設定します。
		フォントサイズ	ライブビューの OSD の文字サイズを設定します。
		フォントの色	ライブビューの OSD の文字色を設定します。
		期間	ライブビューに OSD が表示される時間を設定します。
システム	起動	自動ログイン Guard Station 3.0	本アプリを起動すると、自動でログインします。
		自動的にログインします	起動時に、入力したユーザー名とパスワードを使用して、自動的にログインします。
	ログ	検索履歴保存期間	検索履歴を保存する期間を設定します。
		アラーム履歴保存期間	アラーム履歴を保存する期間を設定します。
	メンテナンス	インポート設定	設定ファイルから設定をインポートします。
		エクスポート設定	設定をエクスポートしファイルとして保存します。

パラメータ			説明内容
動作	アラーム	アラーム音を有効にする	有効にするとアラームタイプに応じて異なる音を設定できます。
		アラーム発生後	アラーム発生後の映像の再生時間を設定します。
		アラーム発生前	アラーム発生前の映像の再生時間を設定します。
動作	アラーム	モーション検出	それぞれ異なるアラームを設定できます。
		タンパーアラーム	
		アラーム入力	
		デバイスオフライン	
		他のアラーム	
		繰り返し回数	アラームの繰り返し回数を設定できます。
	サービス	自動時刻同期	チェックを入れると、デバイスとパソコンの時刻が同期されます。
	E-メール	SMTPサーバー	SMTP サーバーを設定します。
		暗号化のタイプ	E メール送信の暗号化タイプを選択します。
		ポート	ポート番号を設定します。
		サーバー認証有効	チェックを入れると E メール送信時にサーバー認証を有効にします
		送信アドレス	送信者のメールアドレスと受信者のメールアドレスを設定します。
		受信アドレス	
	ウィルス流行管理（この機能は動作しません）	温度単位	温度単位を設定します。
		マスク検出	マスク検知を有効 / 無効にします。
		異常温度検知	異常温度検知を有効 / 無効にし、検知体温を設定します。
		アラーム音声	有効の場合、設定した体温より高い人、またはマスクをしていない人を検知したときアラーム音声が鳴ります。
		ポップアップアラームウィンドウ	有効の場合、設定した体温より高い人、またはマスクをしていない人を検知したときポップアップアラームウィンドウが表示されます。
		メール送信	有効の場合、設定した体温より高い人、またはマスクをしていない人を検知したとき、設定したアドレスにメールが送信されます。

シーケンシャルリソース

映像をウィンドウで１つずつ再生できるようします。

シーケンシャルリソースの画面構成



①名称
シーケンシャルリソースの名称を入力します。

②ビデオチャンネル
デバイスを追加します。追加するデバイス選択し、 をクリックします。

③シーケンシャル間隔
画面の切り換える間隔を設定します。

④削除
追加したデバイスを削除します。

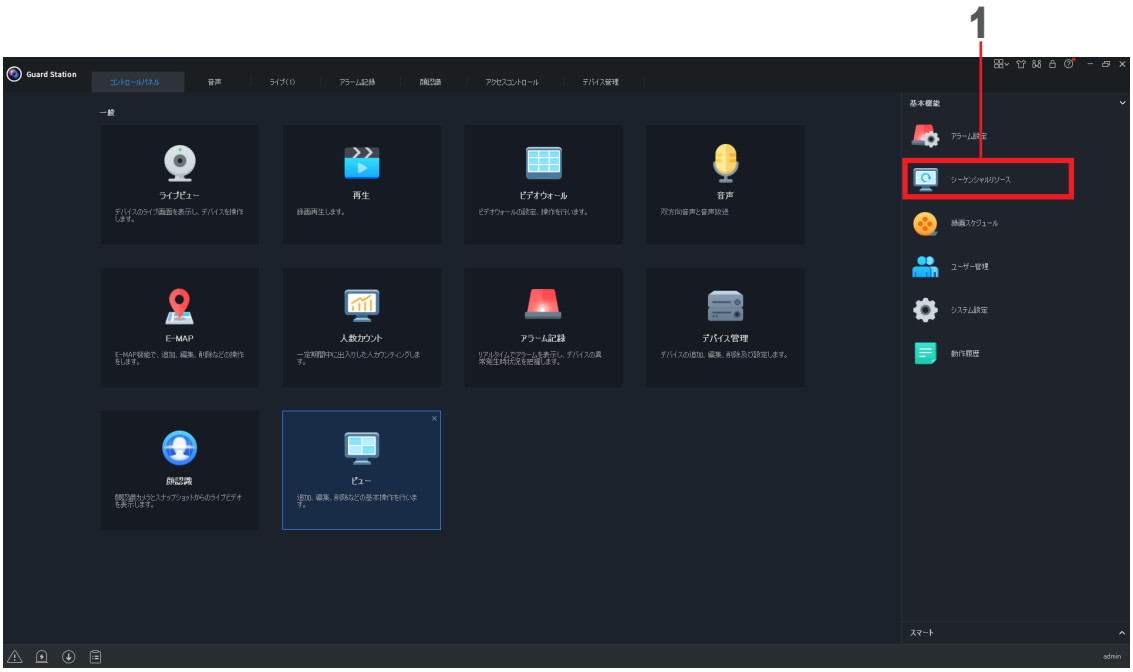
⑤デバイス設定
追加したデバイスの表示順番を変更したり、設定を変更したりできます。

ストリーム	メイン / サブ / サードを入れ換えることができます
編集	プリセットを変更することができます
操作	一段ずつ順番を入れ換えます 最上段または最下段に移動します

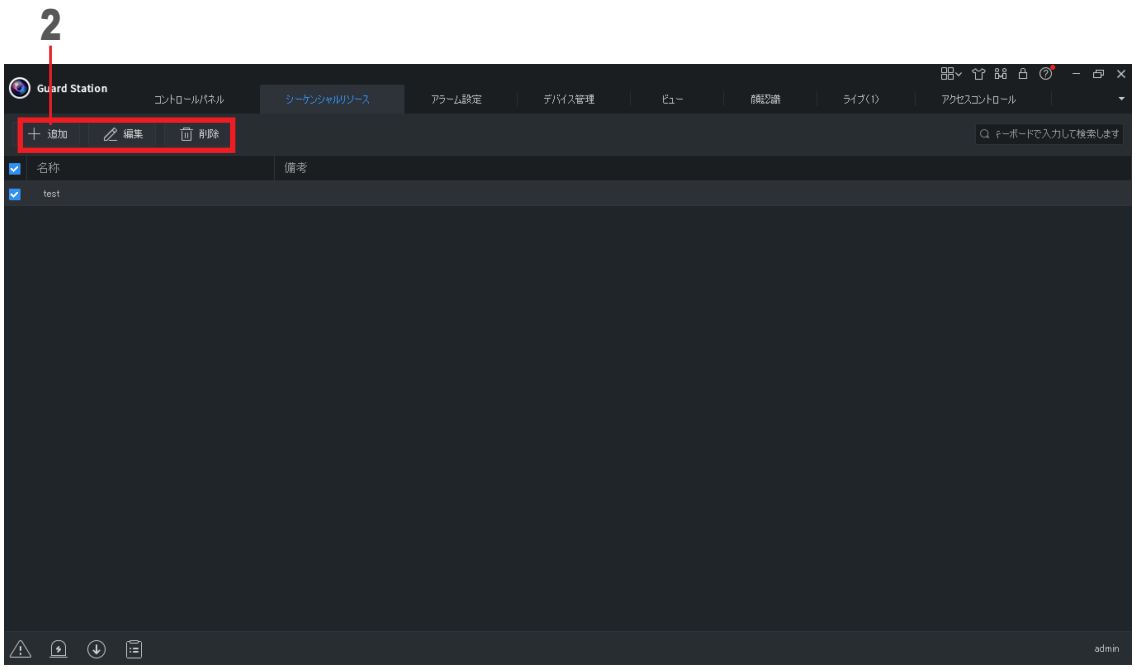
シーケンシャルリソースの追加 / 編集 / 削除

1 シーケンシャルリソースをクリックする

コントロールパネルから［シーケンシャルリソース］を選択します。



2 ［追加］［編集］［削除］を選択する



・［追加］を選択すると［グループ］を追加することができます。

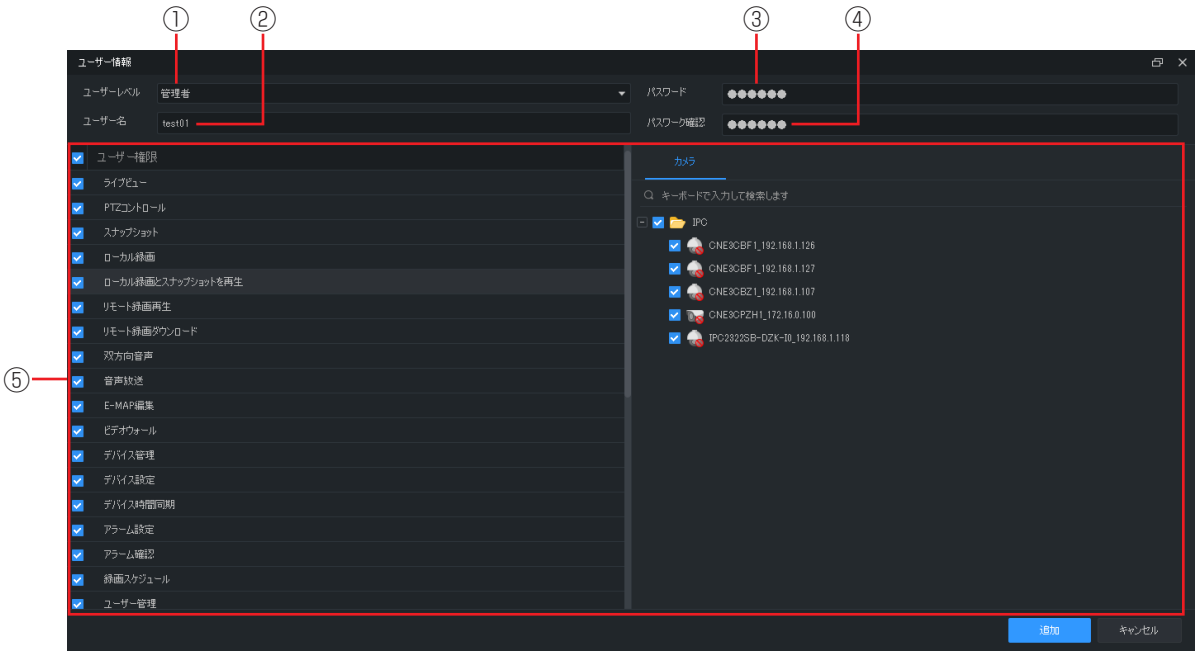
・［編集］を設定するときは、編集する［グループ］を選択してからクリックしてください。

・［削除］を選択するときは、削除する［グループ］を選択してからクリックしてください。

ユーザー管理

本アプリのユーザー権限を追加・編集・削除できます。

ユーザー管理の画面構成



①ユーザーレベル
ユーザーレベルを設定します。

②ユーザー名
ユーザー名を入力します。

③パスワード
パスワードを入力します。

④パスワード確認
再度パスワードを入力します。

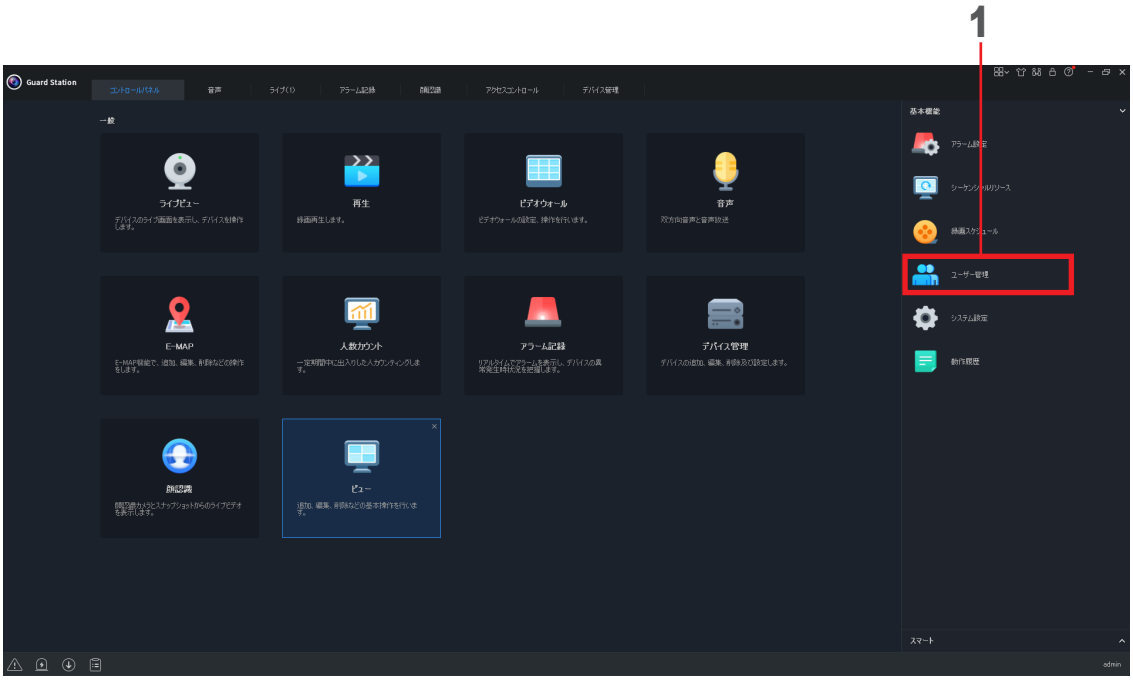
⑤ユーザー権限
操作を許可する項目にチェックを入れます。
[ユーザー権限]にチェックを入れた場合は、すべての項目が許可になります。
左側の権限にチェックを入れて、右側のカメラまたはデバイスが表示された場合は、操作するカメラまたはデバイスにチェックを入れます。

⑥追加
追加を押すと、ユーザの追加ができます。

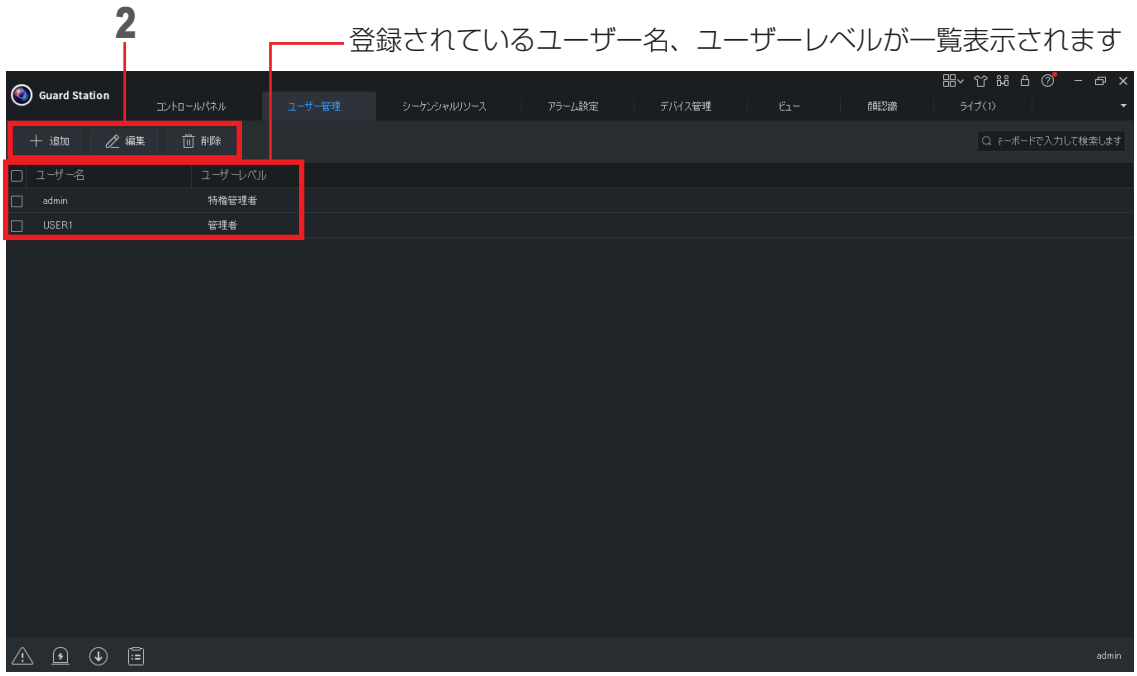
ユーザー管理の追加 / 編集 / 削除

1 ユーザー管理をクリックする

コントロールパネルから［ユーザー管理］を選択します。



2 [追加][編集][削除] を選択する



- [追加] を選択すると [管理者] または [オペレーター] を追加することができます。
- [編集] を設定するときは、編集する [管理者] または [オペレーター] を選択してからクリックしてください。
- [削除] を選択するときは、削除する [管理者] または [オペレーター] を選択してからクリックしてください。

録画スケジュール

本アプリに接続しているネットワークレコーダーの録画スケジュールを設定することができます。この機能は、ネットワークレコーダーに接続しているカメラのみ利用できます。録画された映像は、ネットワークレコーダーに保存されます。

録画スケジュールの画面構成



①デバイスリスト
デバイスを一覧で表示します。[NVR] と表示されたグループからカメラを選択します。

②有効
チェックを入れると、録画スケジュールが有効になります。

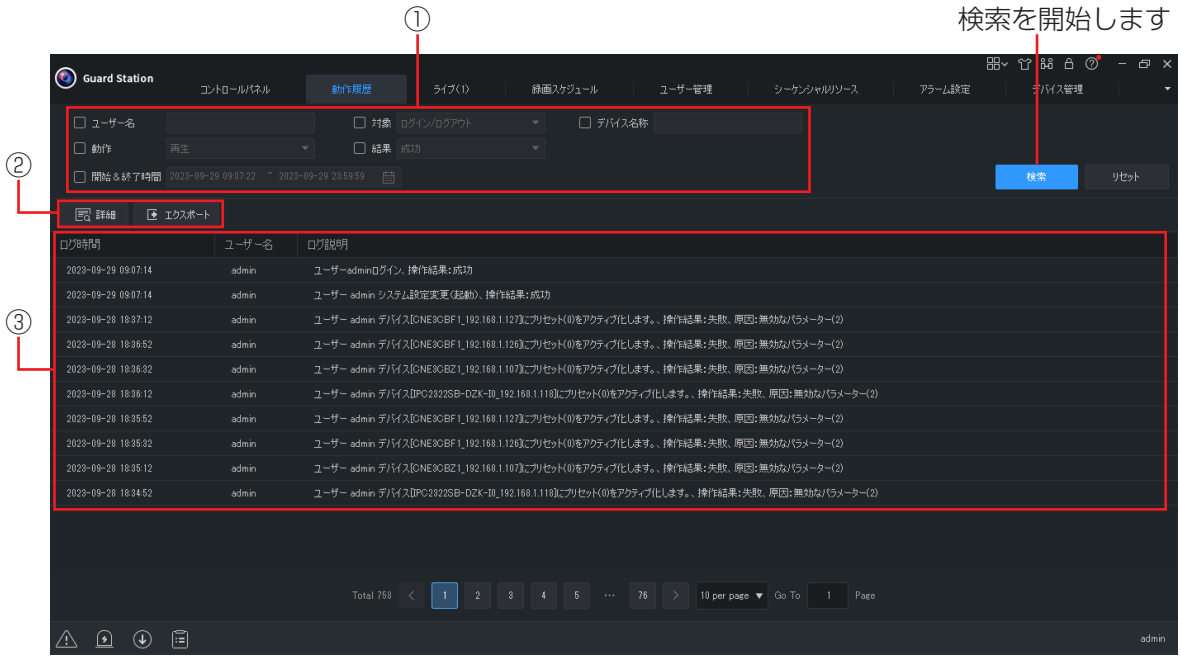
③選択
録画スケジュールを設定します。カレンダーの緑色表示は、録画をする期間です。

④クリア
録画スケジュールをすべて削除します。

動作履歴

操作履歴（ログ）の確認およびエクスポートをします。

動作履歴の画面構成



①検索条件

履歴を検索する条件にチェックを入れます。

[開始＆終了時間] については、 をクリックして日付を選択します。

②詳細 / エクスポート

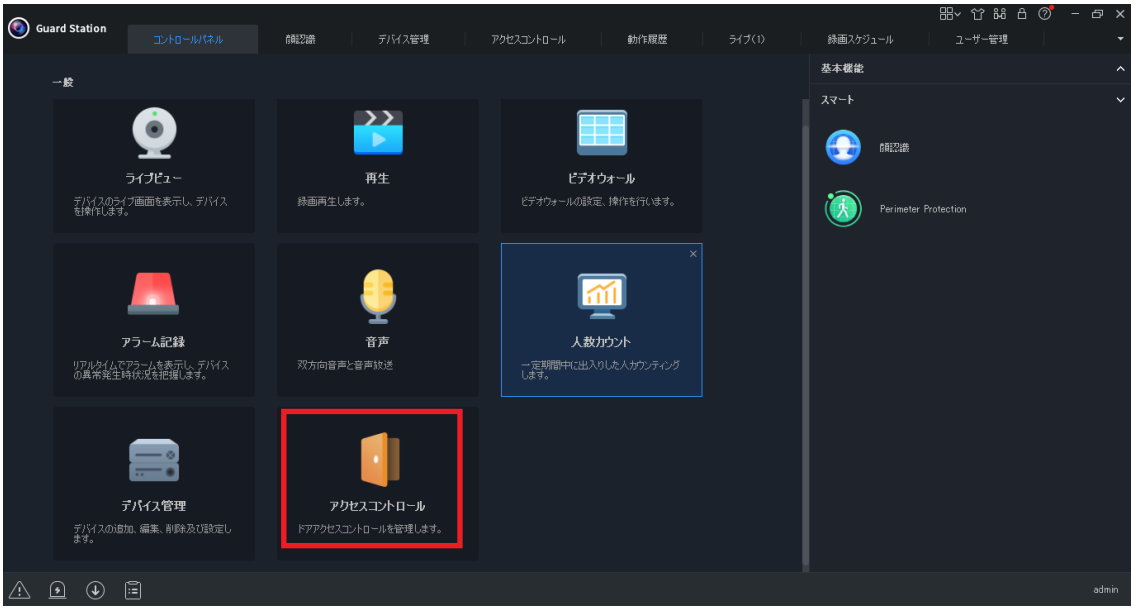
詳細	選択したログの詳細を確認できます
エクスポート	ログを CSV 形式で保存します

③ログ一覧

検索結果を表示します。

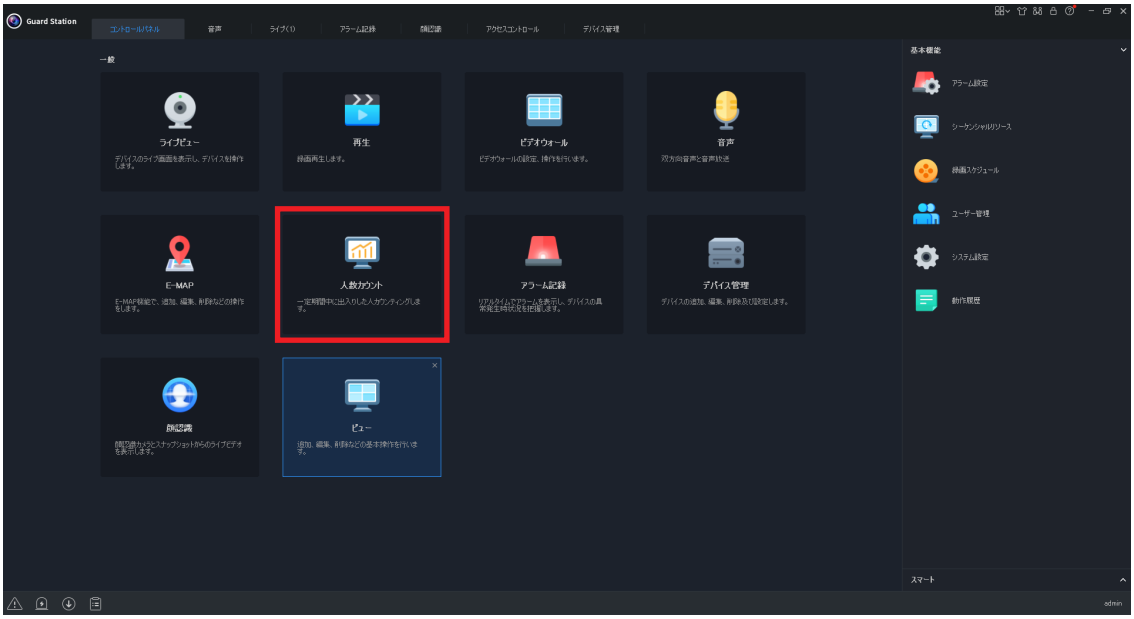
アクセスコントロール

リアルタイム監視をしたり侵入 / 退出の記録をしたりできます（現在この機能は使用できません）。



人流カウント

人数のカウントと人の密度の監視をすることができます（現在この機能は使用できません）。



顔認証

顔認証機能を使用することによって、人物を検索したりできます（現在この機能は使用できません）。



Perimeter Protection

リアルタイム監視、行動検索をすることができます（現在この機能は使用できません）。



遠隔監視設定

遠隔に設置してあるカメラやネットワークレコーダーの登録をすることができます。

Guard Station 以外に、Guard Viewer も使用しますので、Guard Viewer の取扱説明書もあわせてご確認ください。

Guard Viewer の取扱説明書については下記の URL をご確認ください。

https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualImg/GuardViewer.pdf

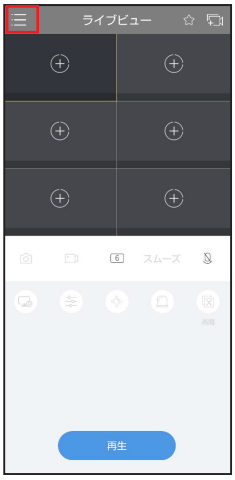
Guard Viewer を使ってカメラを登録する

1 **Guard Viewer をインストールして、サインアップする**

使用するスマートフォンにインストールしてください。
遠隔操作アプリ (Guard Viewer) の取扱説明書をご確認ください。

2 **をタップする**

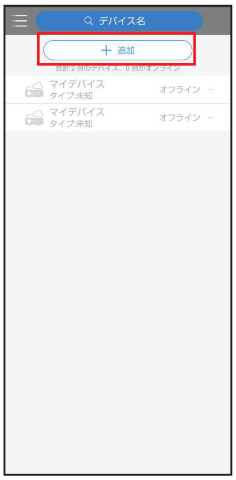
ライブビュー画面を表示します。



3 **［デバイス］をタップする**



4 **［追加］をタップする**



5 **［スキャン］をタップする**



カメラまたはネットワークレコーダーの QR コードを読み取る

カメラまたはネットワークレコーダーの設定画面に表示している QR コードをスキャンしてください。

・[P2P] と [サインアップなしで追加] の ON にチェックマークを入れてください。

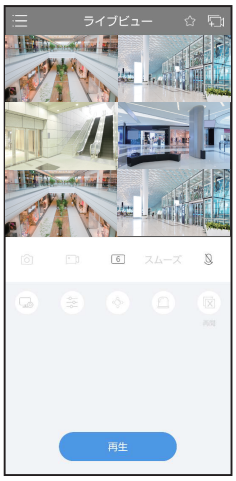


QR コードの表示方法については、ご使用になるカメラまたはネットワークレコーダーの取扱説明書を確認してください。

6 [ライブを見ます] をタップする



7 ライブビューに映像が表示される

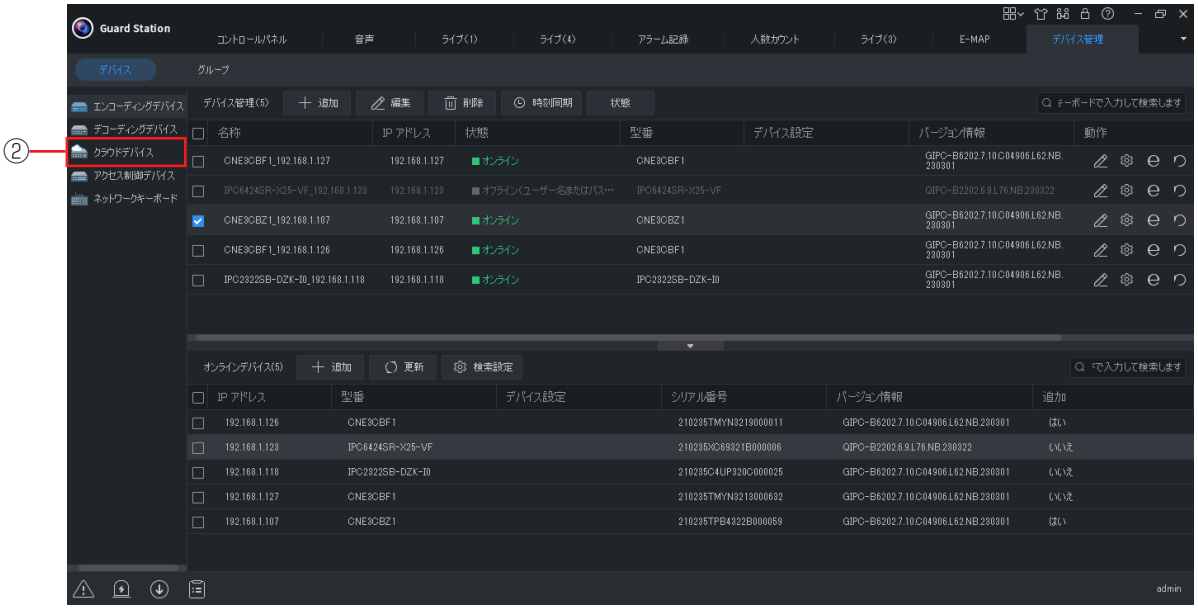


Guard Station の設定

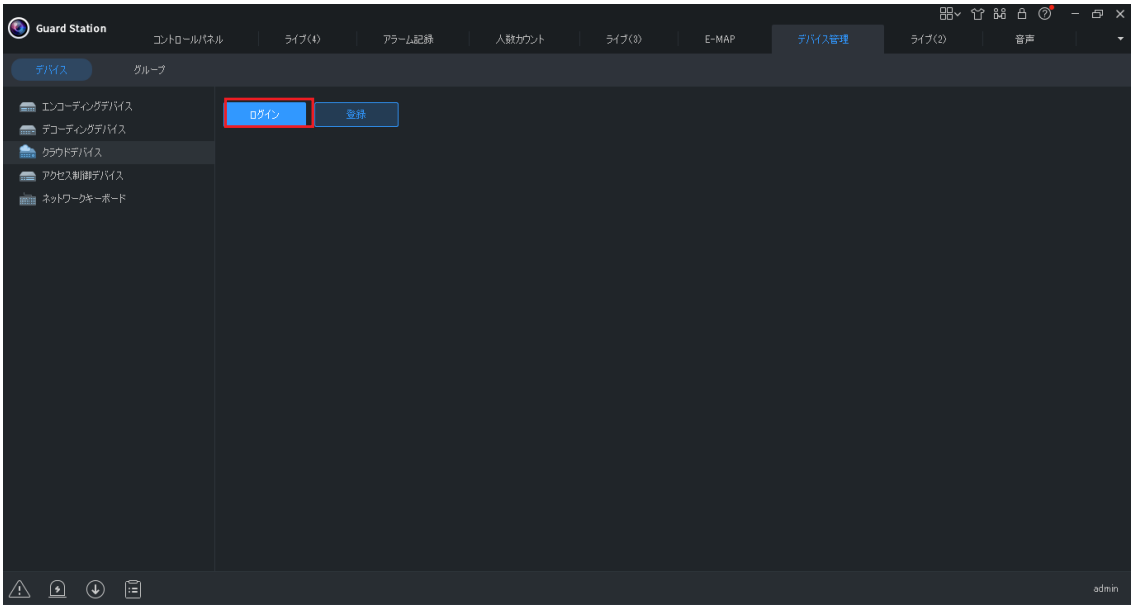
1 クラウドデバイスを選択する

①コントロールパネルから [デバイス管理] を選択します。(➡ 11 ページ)。

②左側のリストから [クラウドデバイス] を選択します。

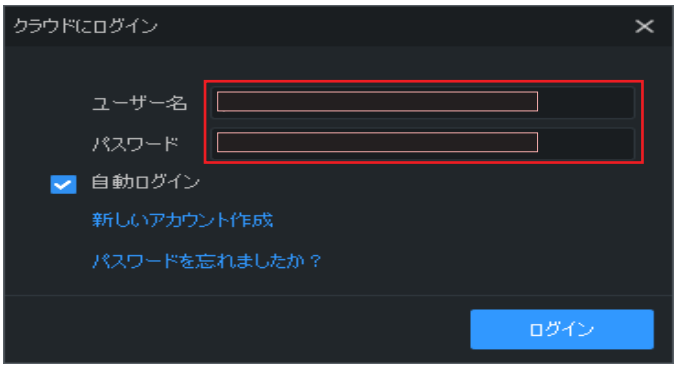


2 ログインを選択する

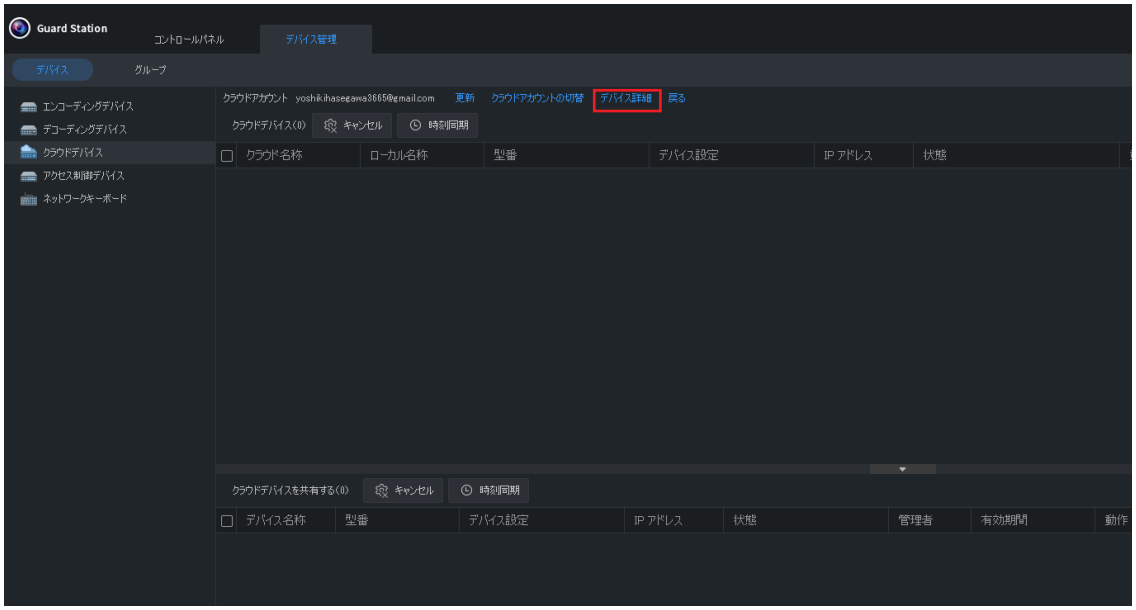


3 ユーザー名とパスワードを入力する

遠隔操作アプリ（Guard Viewer）にログインするときのユーザー名とパスワードを入力してください。



4 [デバイス詳細] をクリックする



5 デバイス詳細画面で [＋追加] をクリックする



6 デバイス情報を入力する

[デバイス名称] と [登録コード] を入力します。
入力後、[追加] をクリックします。



・デバイス名称：遠隔操作アプリ（Guard Viewer）に表示されているデバイス名を入力します。

Guard Viewer については、下記の URL よりご確認ください。

https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/GuardViewer.pdf

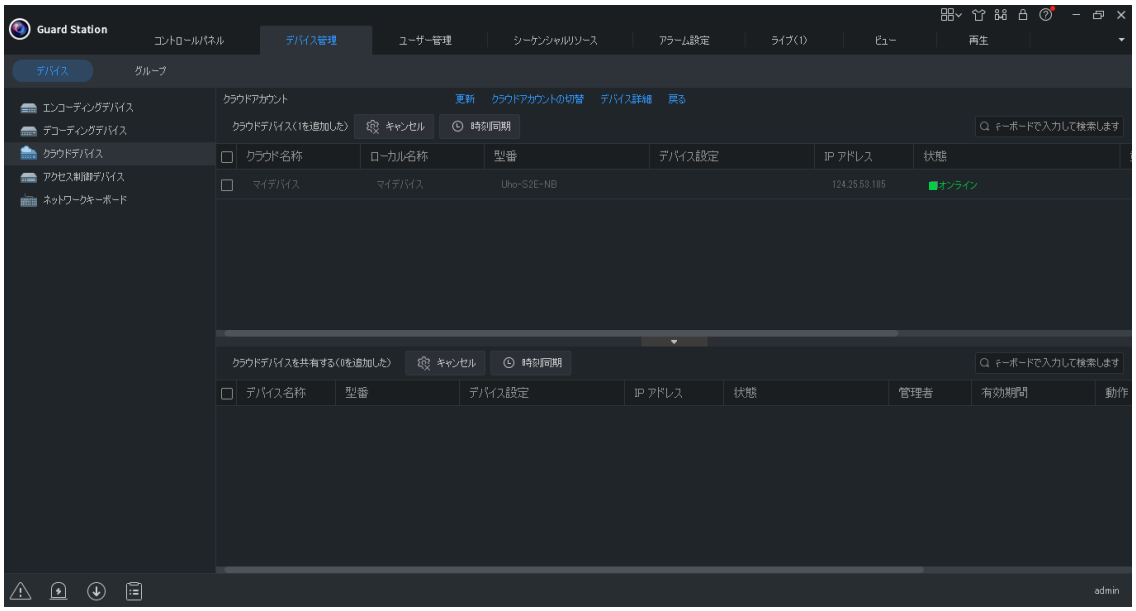


・登録コード：カメラの管理画面に表示されている登録コードを入力します。
登録コードは以下のカメラの管理画面の以下のメニューより確認できます。
[設定] > [ネットワーク] > [P2P]
カメラの管理画面の使用方法については、下記の URL よりご使用になるカメラから取扱説明書（詳細）をご確認ください。
https://dxantenna-product.dga.jp/list.html?page=1&category=144



7 デバイス管理画面にカメラが追加される

状態が [オンライン] になっていることを確認してください。
遠隔操作アプリ（Guard Viewer）でライブビューを表示しているカメラが追加されます。



状態が [オンライン] にならないときは、以下の内容を確認してください。
・カメラの管理画面でポートマッピング設定が ON（有効）になっていますか？
[設定] > [ネットワーク] > [ポート]
・カメラを再起動してください。

8 ライブビューを表示、または録画映像を再生する

・ライブ映像を視聴するときは、[ライブビュー] でデバイス名をダブルクリックします（➡ 13 ページ）。
・録画映像を再生するときは、デバイスを選択し、[検索] をクリックします（➡ 19 ページ）。